



経営の基本精神に基づき患者さんを中心に考える、 グローバルな研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニー



武田薬品工業株式会社
グローバルファイナンス IR
2019年3月

Better Health, Brighter Future

重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション (presentation)」とは、本プレゼンテーションにおいて武田薬品工業株式会社 (以下、「武田薬品」) によって説明又は配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション (それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます。) は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法に基づく登録又は登録免除の要件に従い行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく) 情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で (受領者に対して提供される追加情報と共に) 提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

特定されていない限り、本プレゼンテーションにおけるいかなる声明 (シナジーの予測の声明を含みます。) も、いかなる期間における業績予測又その見積もりを意図するものではなく、本プレゼンテーションにおけるいかなる声明も、現在又は将来の会計年度における武田薬品の収益又は1株当たりの利益が過去に公表された武田薬品の1株当たりの利益と必ずしも合致し、又はそれを超えることを意味すると解釈されてはなりません。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使用されていることがあります。同様に、「当社 (we, us及びour)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあります。

将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む当社の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする (targets)」、「計画する (plans)」、「信じる (believes)」、「望む (hopes)」、「継続する (continues)」、「期待する (expects)」、「めざす (aims)」、「意図する (intends)」、「だろう (will)」、「かもしれない (may)」、「すべきであろう (should)」、「であろう (would)」、「することができた (could)」、「予想される (anticipates)」、「見込む (estimates)」、「予想する (projects) 」などの用語又は同様の用語若しくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提及び理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社又は当社の役員による、将来の業績に関する保証を表すものではなく、既知及び未知のリスクと不確実性その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本、米国及び世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、関連法規、製品開発計画の成功又は失敗、規制当局による判断とその時期、為替変動、市場で販売された製品又は製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念等、買収対象企業とのPMI (買収後の統合プロセス) が含まれますが、これらに限られません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示又は暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社の業績、経営結果又は財務状況に影響を与え得る事項の詳細に関しては、米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる登録届出書の「第3項重要事項 - D. リスクファクター」をご参照ください (<https://www.takeda.com/investors/reports/sec-filings/> 又は www.sec.gov において閲覧可能です。)。当社又は当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということを保証するものではなく、実際の業績又は経営結果は予想と大きく異なることがあります。本プレゼンテーションの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。武田薬品は、本プレゼンテーションに含まれる、又は当社が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想又は見積もりではありません。

重要な注意事項

当社は、Shire社買収影響を含めた合理的な業績予想を策定次第、これを公表する予定ですが、企業結合会計にかかる同社の資産価値金額およびその配分額の算出、償却方法・期間等の会計処理の検討にはまだ時間を要します。また、買収完了日から当連結会計年度末までの同社の損益影響や年間の買収関連費用を、現時点で合理的に見積もることも困難です。当社は、本買収が業績にもたらす影響の大きさに鑑み、暫定的、部分的な連結業績予想の提供は現時点で行わず、全体として、合理的な業績予想を策定次第、Shire社統合後の通期の連結業績予想を公表する方針です。

IFRSに準拠しない財務指標

本プレゼンテーションには、**IFRS（国際会計基準）**に準拠しない財務指標である、実質的な売上収益、Core Earnings、実質的なCore Earnings、Core当期利益、実質的なCore当期利益、実質的なCore EPS、純有利子負債、EBITDA、調整後EBITDA、営業フリー・キャッシュ・フローが含まれています。当社役員は業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本プレゼンテーションに含まれるIFRS以外の指標に基づき行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、IFRSに基づく場合には含まれることとなる一定の利益及びコスト並びにキャッシュ・フローを除外しており、またはIFRSにおいて最も良く対応した財務指標とは異なる計算方法で算出されています。IFRSに準拠しない財務指標を提供することで、当社役員は、投資家の皆様に対し、当社の経営状況、主要な業績及び動向の更なる分析のための付加的な情報を提供したいと考えております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標（「財務ベース」の用語で使われることがあります）に代替するものではありません。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

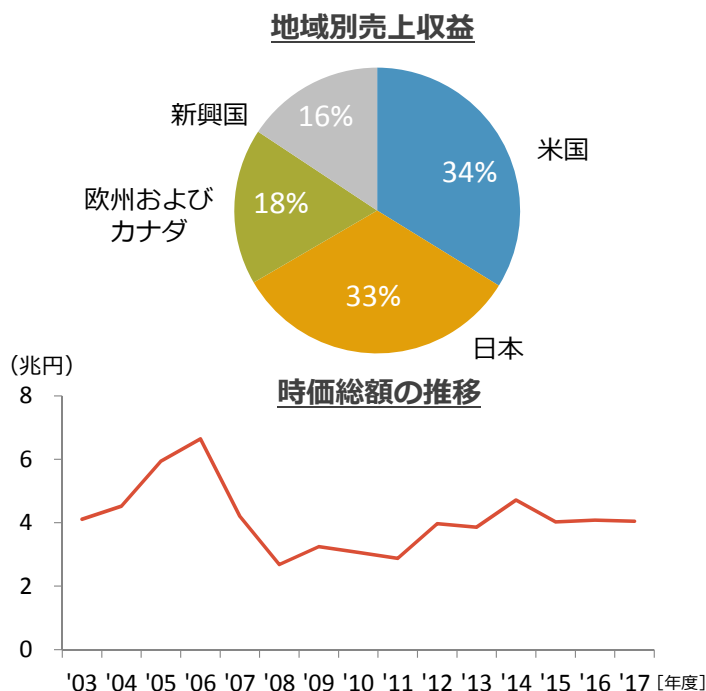
当社のIFRSに準拠しない財務指標のさらなる詳細については当社のホームページをご参照ください。<https://www.takeda.com/jp/investors/reports/quarterly-announcements/quarterly-announcements-2018/>

医療情報

本プレゼンテーションには、製品についての情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではありませんし、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品の効能を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

シャイアー社買収前のタケダの概要

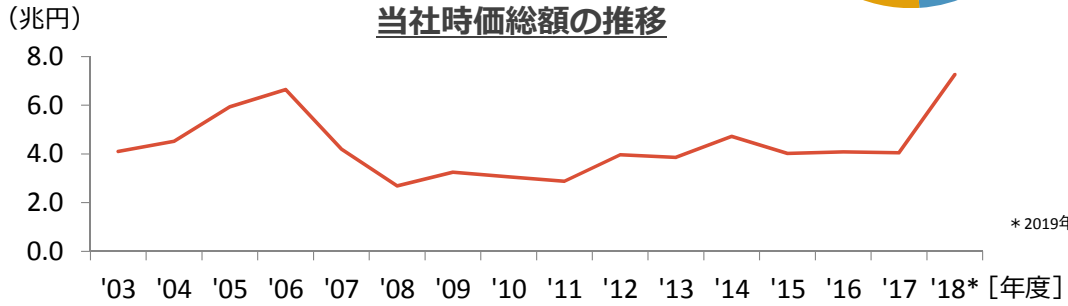
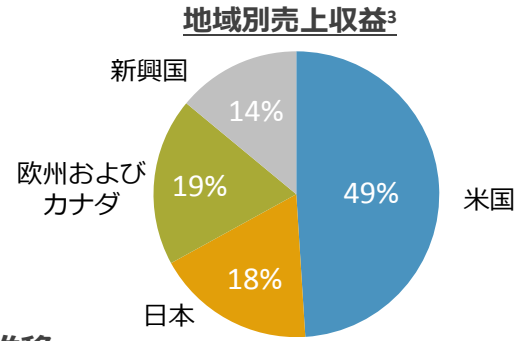
武田薬品工業株式会社		
創業	1781年	
時価総額	約2.9兆円（2018年12月31日時点）	
証券コード	4502（東京証券取引所）	
2017年度業績概要	<ul style="list-style-type: none"> 売上収益 1兆7,705億円 海外売上高比率 67% 営業利益 2,418億円 EPS 239円 一株あたり配当金 180円 	
	従業員	約27,000人 うち海外が約20,000人（75%）
	進出国数	70ヶ国以上



シャイアー社買収後のタケダ

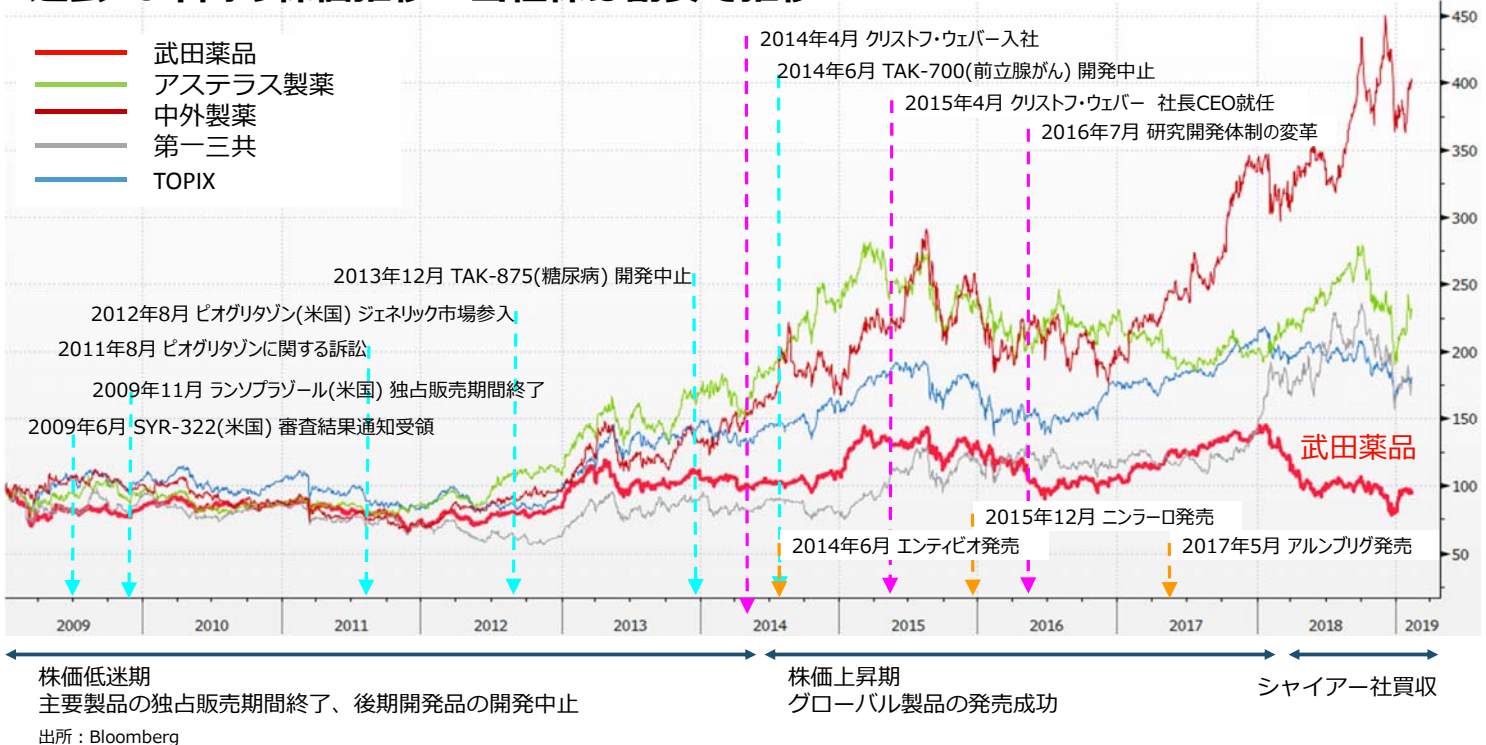
武田薬品工業株式会社

時価総額	約7.3兆円 (2019年3月11日時点)	
証券コード	4502 (東京証券取引所) TAK (ニューヨーク証券取引所)	
試算財務数値	売上収益	313億米ドル ¹
	調整後EBITDA	101億米ドル ^{1,2}
進出国数	約80ヶ国	



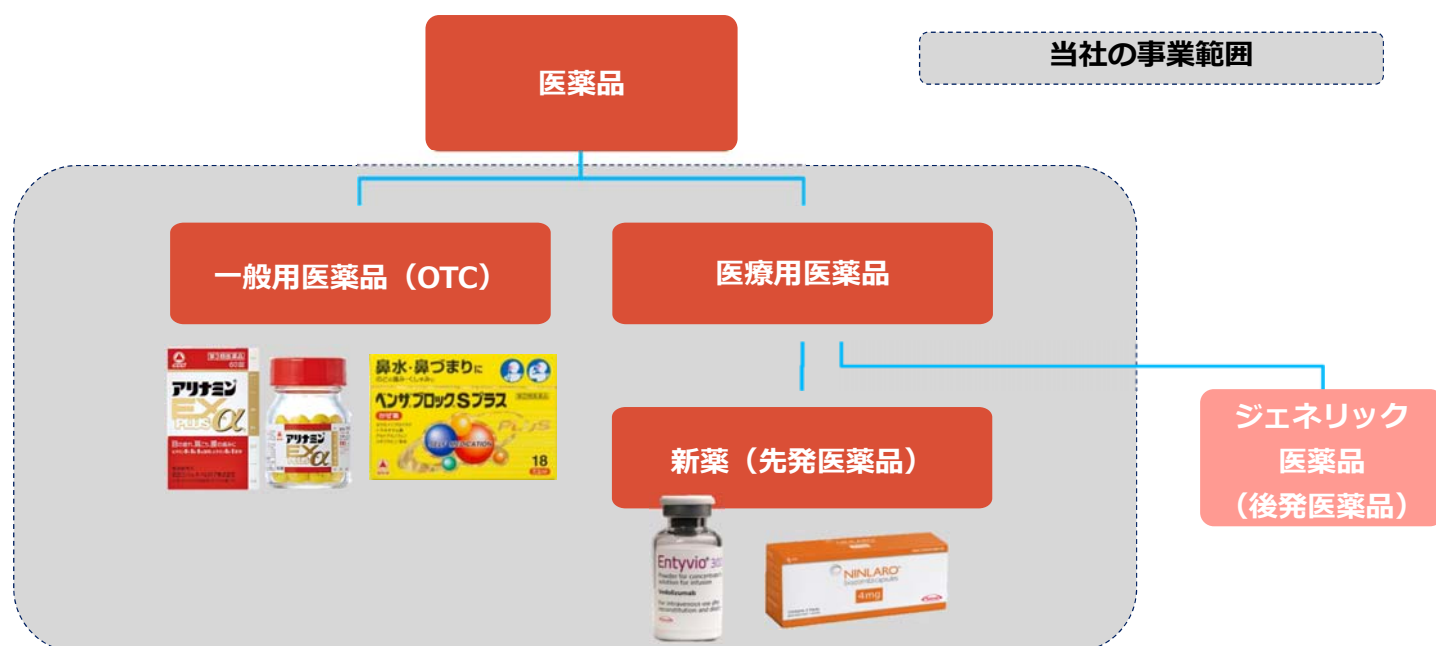
¹ 2018年9月30日までの過去12ヶ月 (LTM) の実績を2018年9月30日の為替レート1米ドル=113.6円を使用して算出
² 武田薬品の調整後EBITDAとシャイアー社のNon-GAAP EBITDAの合計、詳細はスライド57-60をご参照
³ a) 武田薬品の地域別売上収益は2018年3月31日までの過去12ヶ月の実績、b) シャイアー社の地域別売上収益は2017年12月31日までの過去12ヶ月のおおよその実績をその時点の為替レート1米ドル=112.65円を使用して算出、統合後のパーセンテージは武田薬品とシャイアー社の地域別売上収益を合算して算出

過去10年間の株価推移 当社株は割安で推移



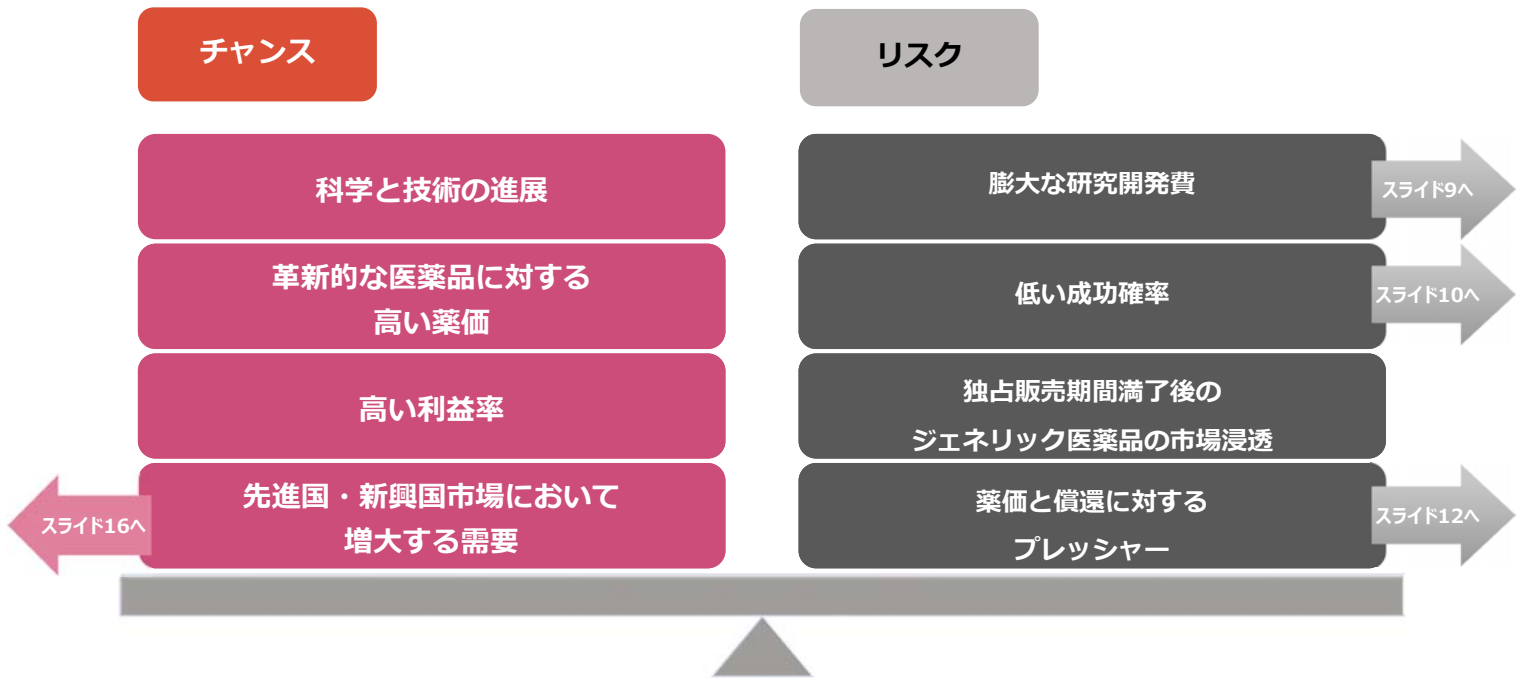
製薬業界について

当社の事業範囲 タケダは画期的な新薬の研究開発に注力

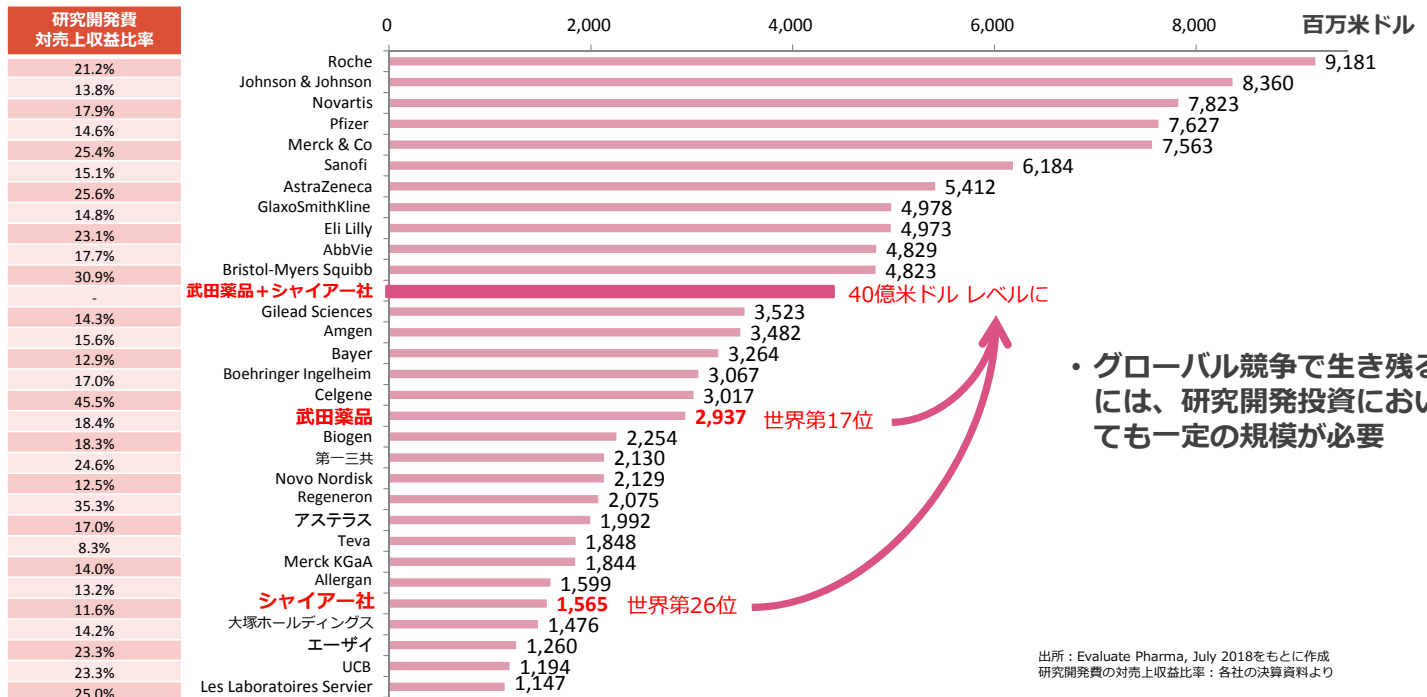


製薬業界の特徴

ハイリスク、ハイリターンな研究開発を重視



グローバル製薬企業における研究開発費（2017年） メガファーマの研究開発投資規模は圧倒的



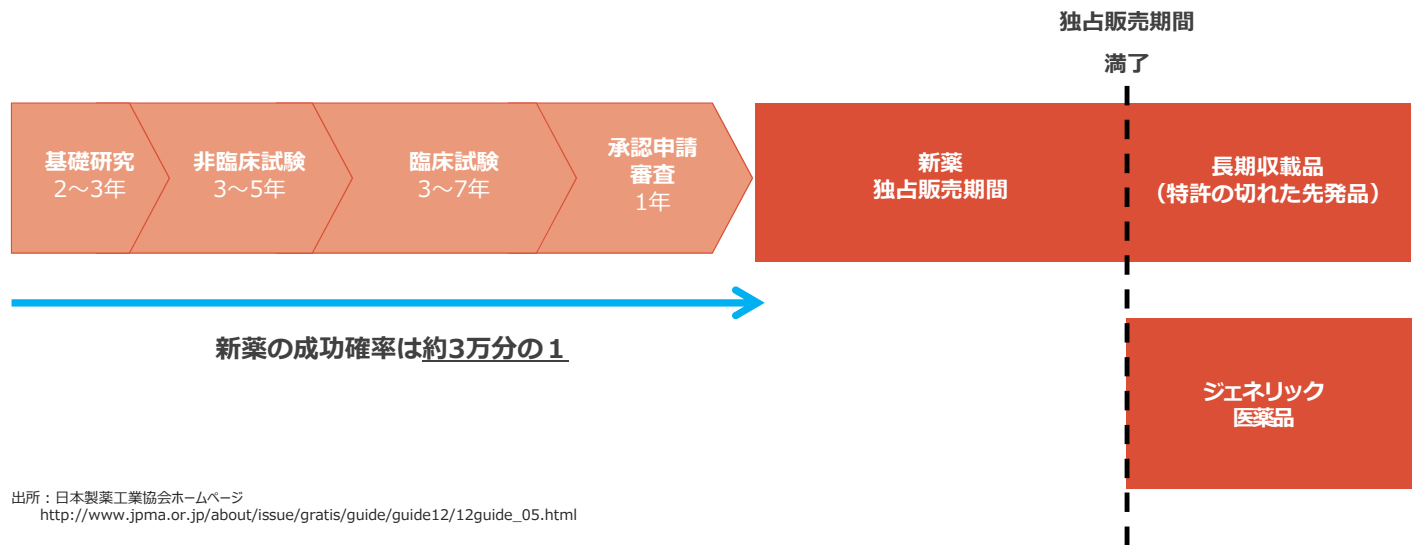
・グローバル競争で生き残るには、研究開発投資においても一定の規模が必要

出所：Evaluate Pharma, July 2018をもとに作成
研究開発費の対売上収益比率：各社の決算資料より

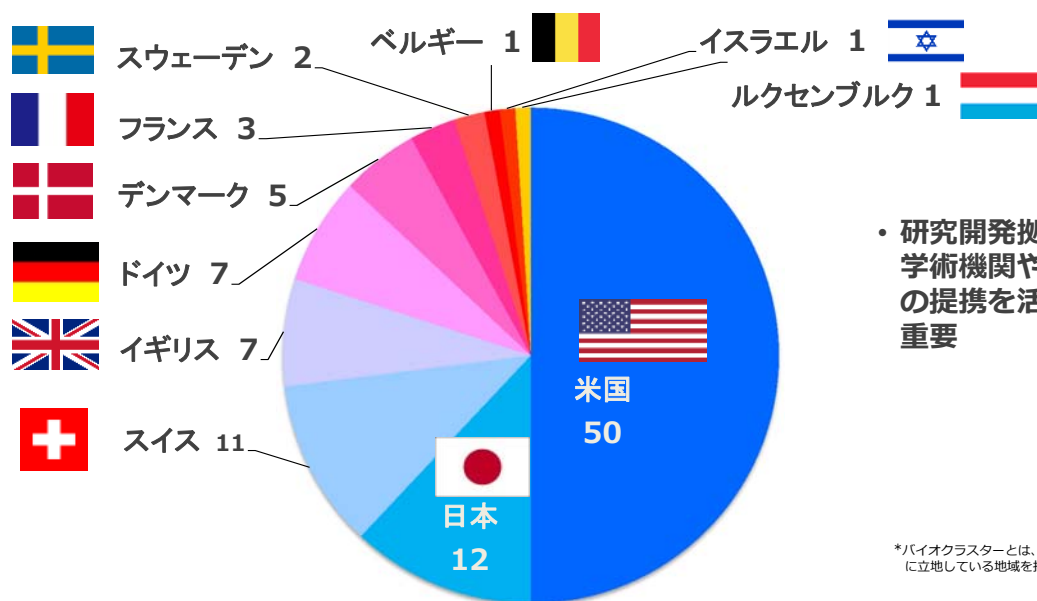
新薬の研究開発

長い期間（9～16年）と膨大な研究開発費が必要

新薬の研究開発費は数百億円から1,000億円を超えることも



医療用医薬品世界売上高上位100品目の主要国別起源比較（2017年） バイオクラスター*を擁する米国が半数を占める



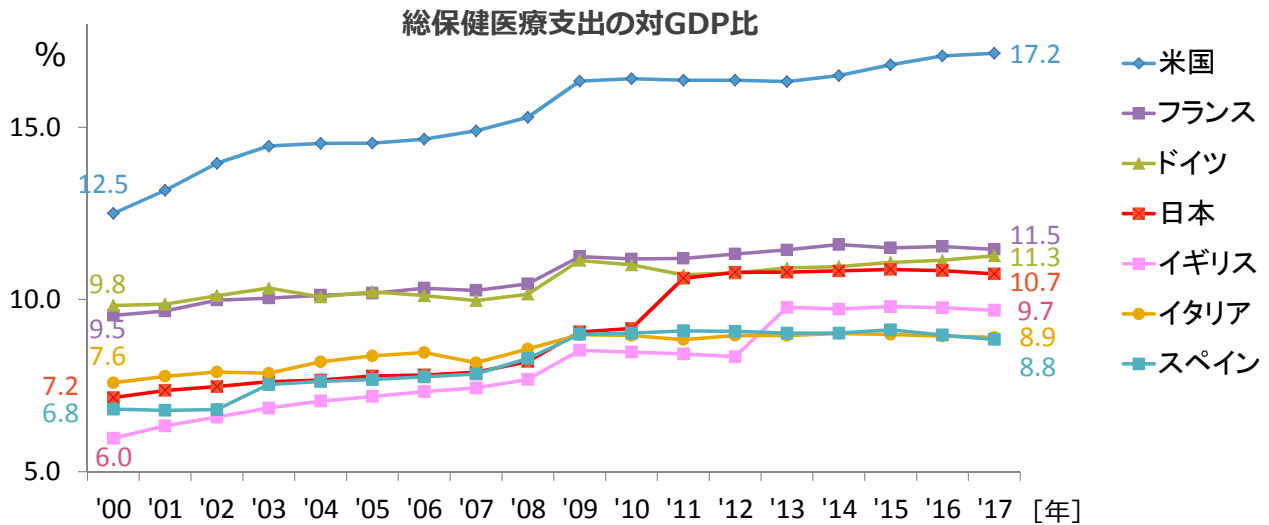
・研究開発拠点を米国に設け、
 学術機関やバイオベンチャーとの
 提携を活発に実施することが
 重要

*バイオクラスターとは、バイオテクノロジー関連産業や研究機関が集中的に立地している地域を指す

注：特許帰属企業の国籍による分類
 2017年売上上位100品目を、オリジン企業国籍別に集計
 出所：Copyright©2018 IQVIA. World Review Analyst, IQVIA Pipeline & New Product Intelligence, Pharmaprojects, Evaluate Pharma, Integrityをもとに作成（無断転載禁止）
 出典：医薬産業政策研究所 政策研ニュースNo.55（2018年11月）

主要国のGDPに占める総保健医療支出

約10%前後で徐々に増加傾向、高まる薬価と償還へのプレッシャー



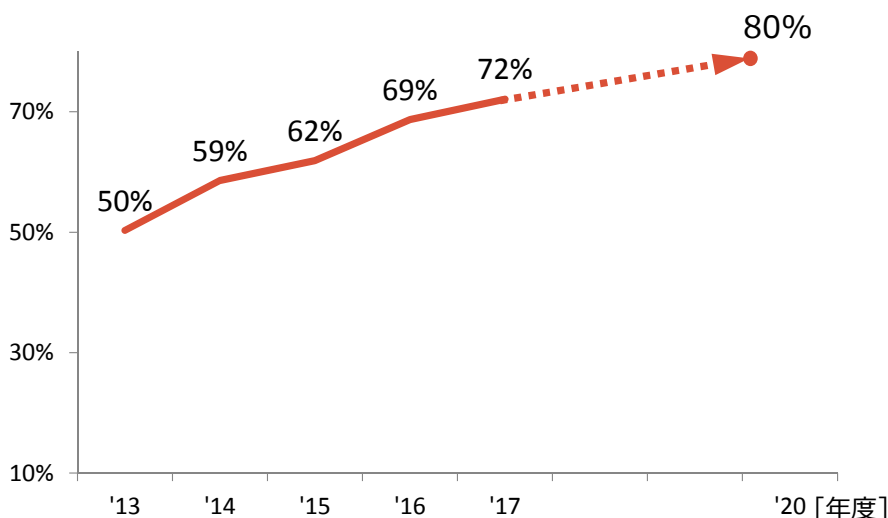
出典： OECD Health Stats 2018

総保健医療支出とは、ヘルスケア製品およびサービスの最終消費額であり、診療サービス、リハビリテーションサービス、長期医療系サービス、医療の補助的サービスおよび医療財の提供に加え、予防および公衆衛生サービス、保健医療管理業務などを含むが、投資支出は含まない。

日本の市場環境

政府による使用促進策により日本でもジェネリック医薬品が市場浸透

ジェネリック医薬品の国内市場シェア（数量ベース）



政府：

- 「2020年9月迄に、ジェネリック医薬品の使用割合を80%（数量ベース）に」
- 長期収載品の薬価も引下げ

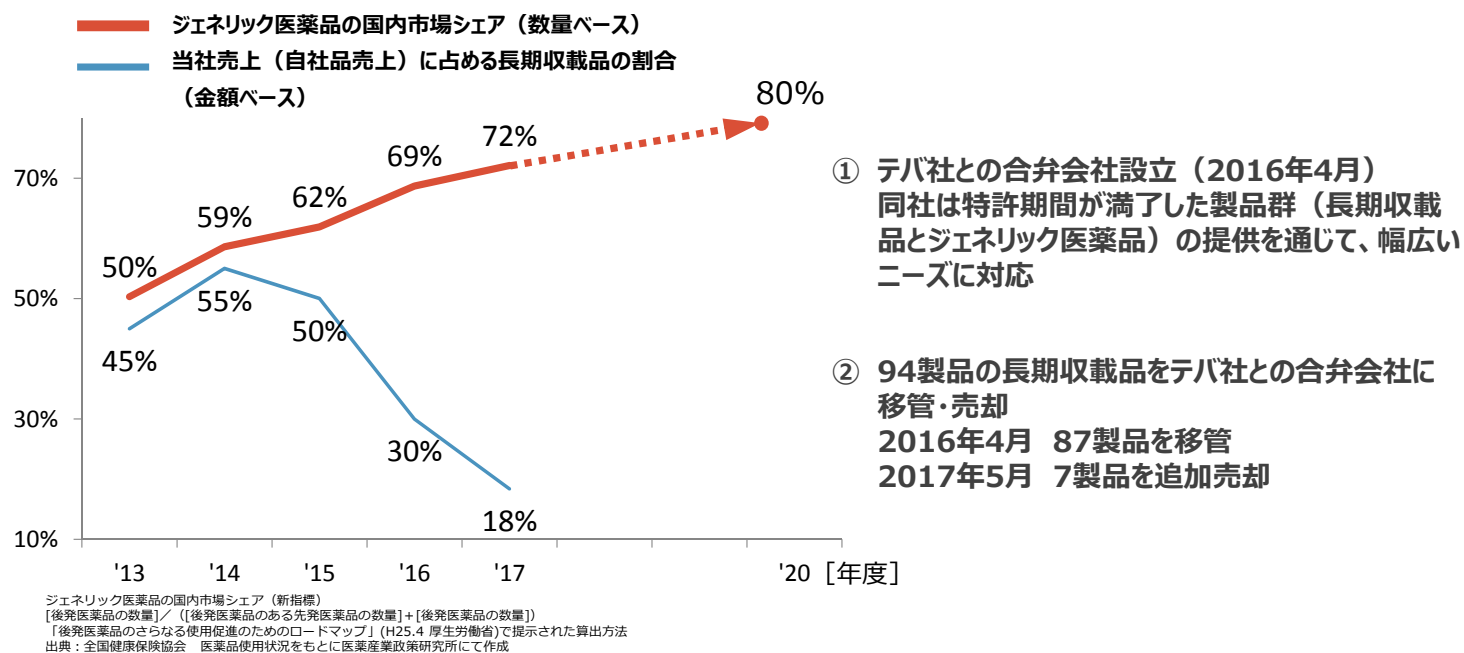
製薬会社：

長期収載品に依存することなく新薬を継続的に発売することが必要

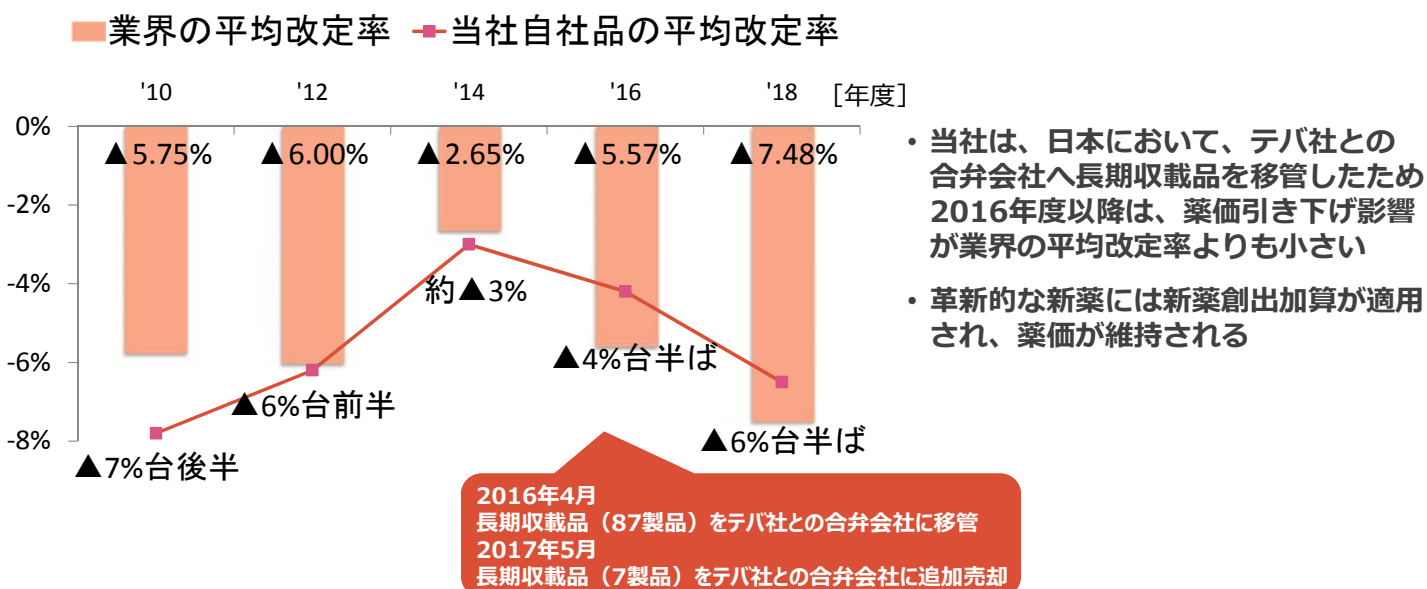
ジェネリック医薬品の国内市場シェア（新指標）

$$\frac{\text{〔後発医薬品の数量〕}}{\text{〔後発医薬品のある先発医薬品の数量〕} + \text{〔後発医薬品の数量〕}}$$
 「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」（H25.4 厚生労働省）で提示された算出方法
 出典：全国健康保険協会 医薬品使用状況をもとに医薬産業政策研究所にて作成

日本の市場環境 当社の長期収載品への依存度は急激に低下



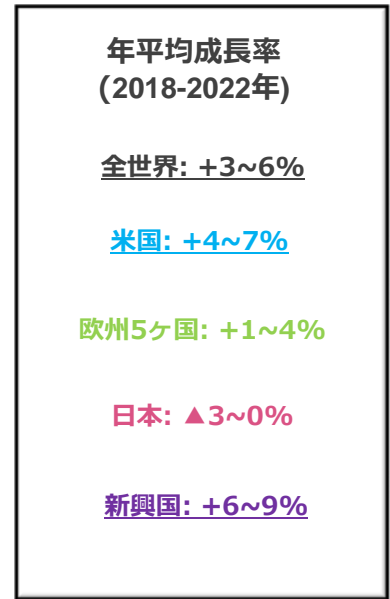
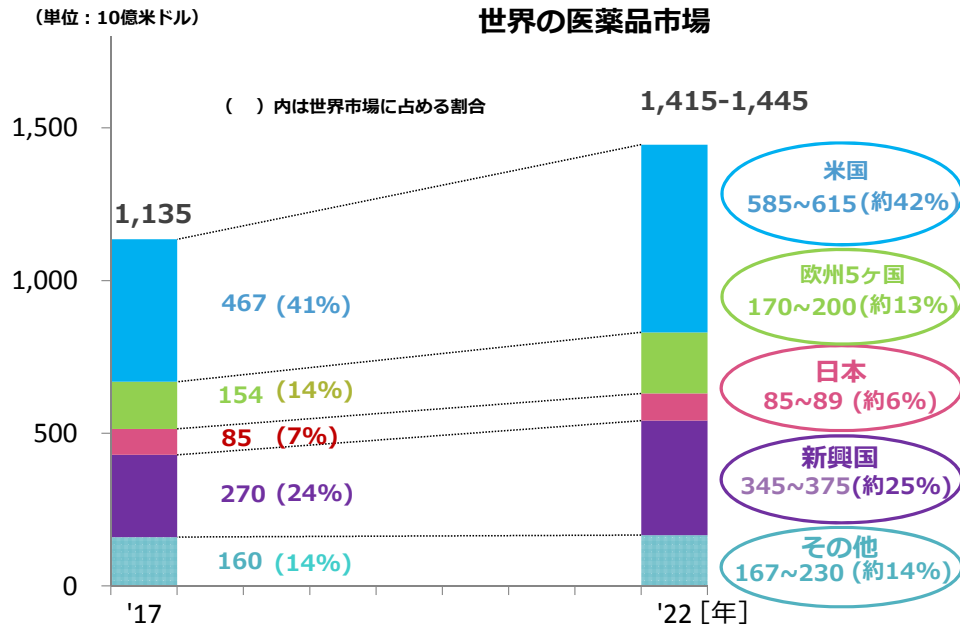
日本の市場環境 日本の医薬品市場は、政府による薬価改定の影響を大きく受ける



業界平均の改定率：厚生労働省「薬価基準改定の概要」より

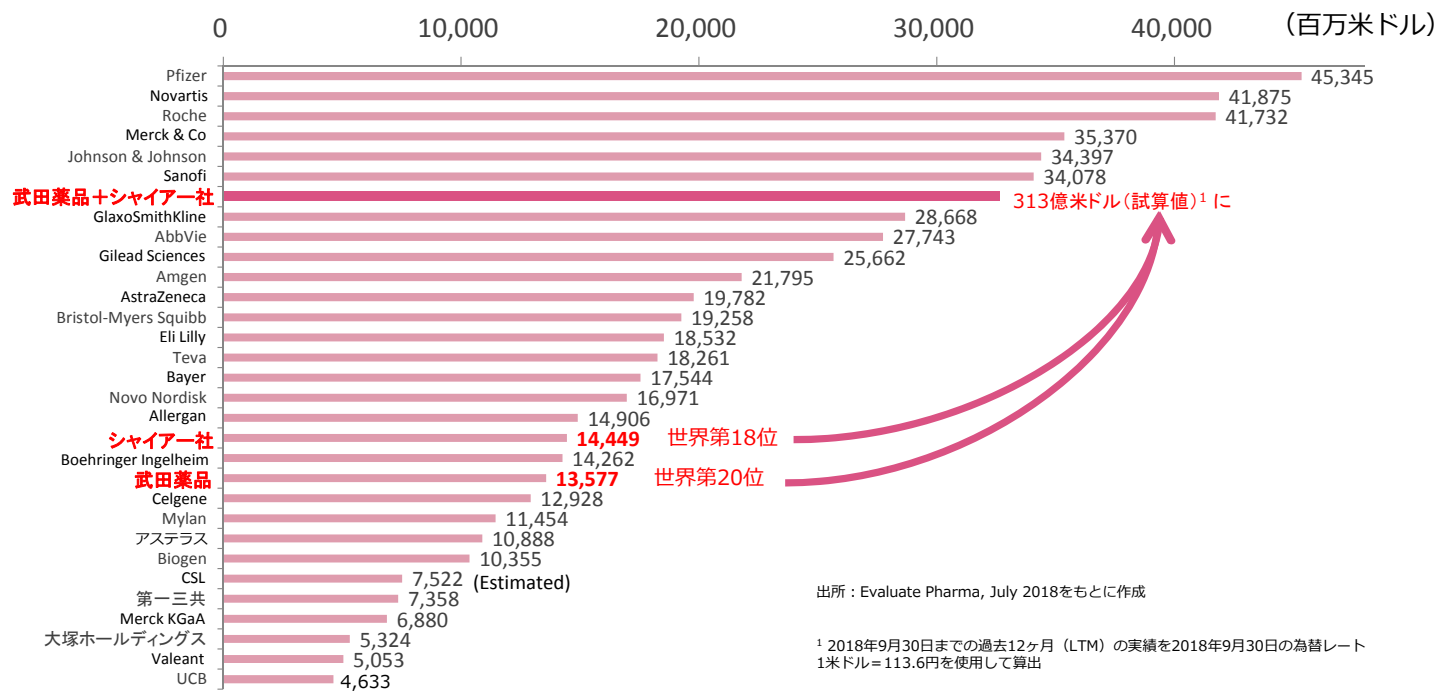
世界の医薬品市場

米国と新興国が牽引、日本は縮小傾向、成長市場での事業基盤の拡大・強化が不可欠



世界の医薬品企業 売上ランキング (2017年 医療用医薬品売上)

グローバル競争はますます激化、トップ企業とは約3倍の格差



タケダのご紹介

経営の基本精神

1781年から230年以上にわたり培われた価値観が長期的成功の基盤

バリュー（価値観）



私たちは、4つの重要事項について、その優先順位に従って考え、行動や判断の基準とします。

1

常に患者さんを
中心に考える

2

社会との信頼
関係を築く

3

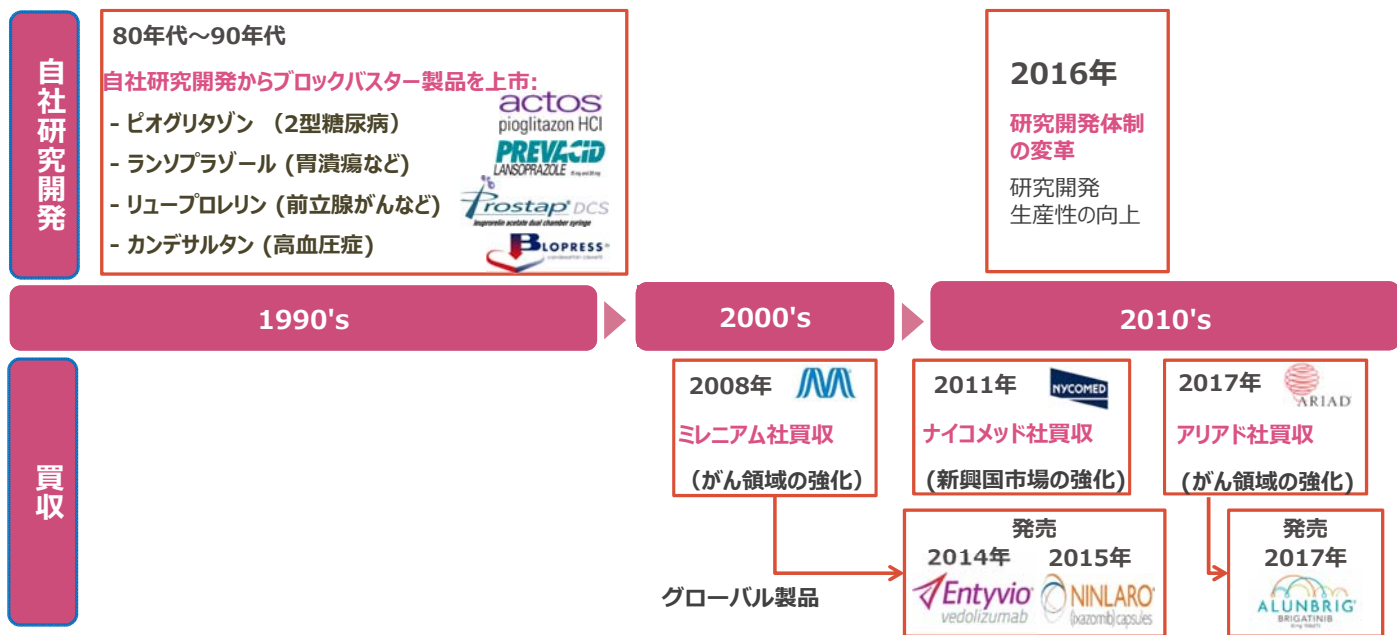
レピュテーションを
向上させる

4

事業を発展
させる

当社の状況

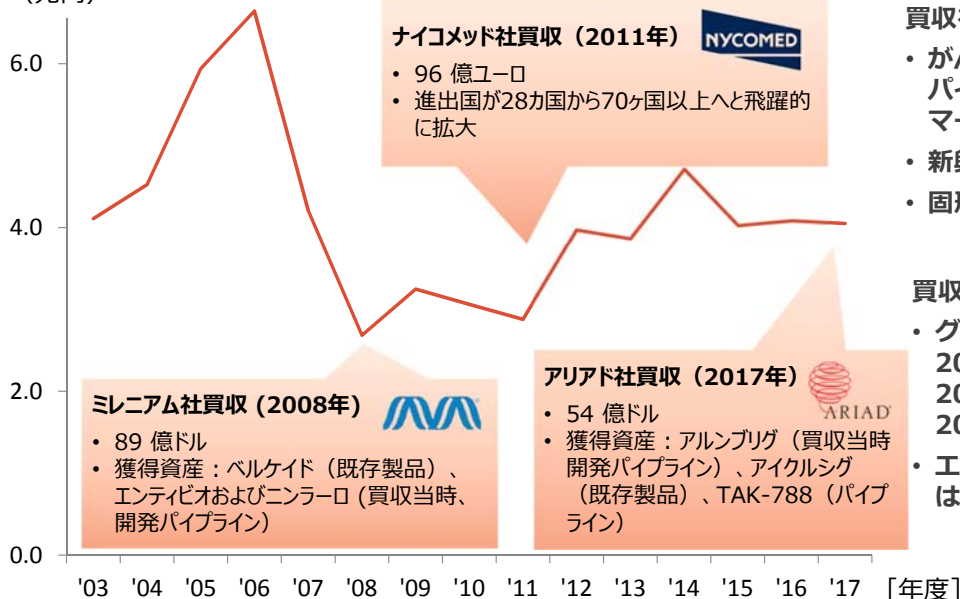
90年代以降、自社のグローバル製品の発売が難航、研究開発体制の変革や戦略的買収を実施



本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

これまでの大型買収 着実に成果を達成

当社時価総額
(兆円)



買収を通じて：

- がん領域における製品ポートフォリオ、パイプライン、研究開発力販売・マーケティング力を強化 (ミレニアム社)
- 新興国市場で販売基盤を強化 (ナイコメッド社)
- 固形がん製品の獲得 (アリアド社)

買収の成果：

- グローバル製品の発売
 2014年6月 エンティビオ
 2015年12月 ニンラー口
 2017年5月 アルンブリグ
- エンティビオ、ニンラー口の新興国での発売はナイコメッド社の基盤を活用

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

研究開発体制の変革 疾患領域の絞込み



22

研究開発体制の変革 日米に拠点を集約、重点疾患領域に集中した生産性の高い研究開発拠点とすることで 研究開発資源を最適化



マサチューセッツ州 ボストン（米国）

研究開発の中心拠点
オノロジー（がん）
消化器系疾患

湘南（日本）

ニューロサイエンス
T-CiRA
湘南ヘルスイノベーションパーク

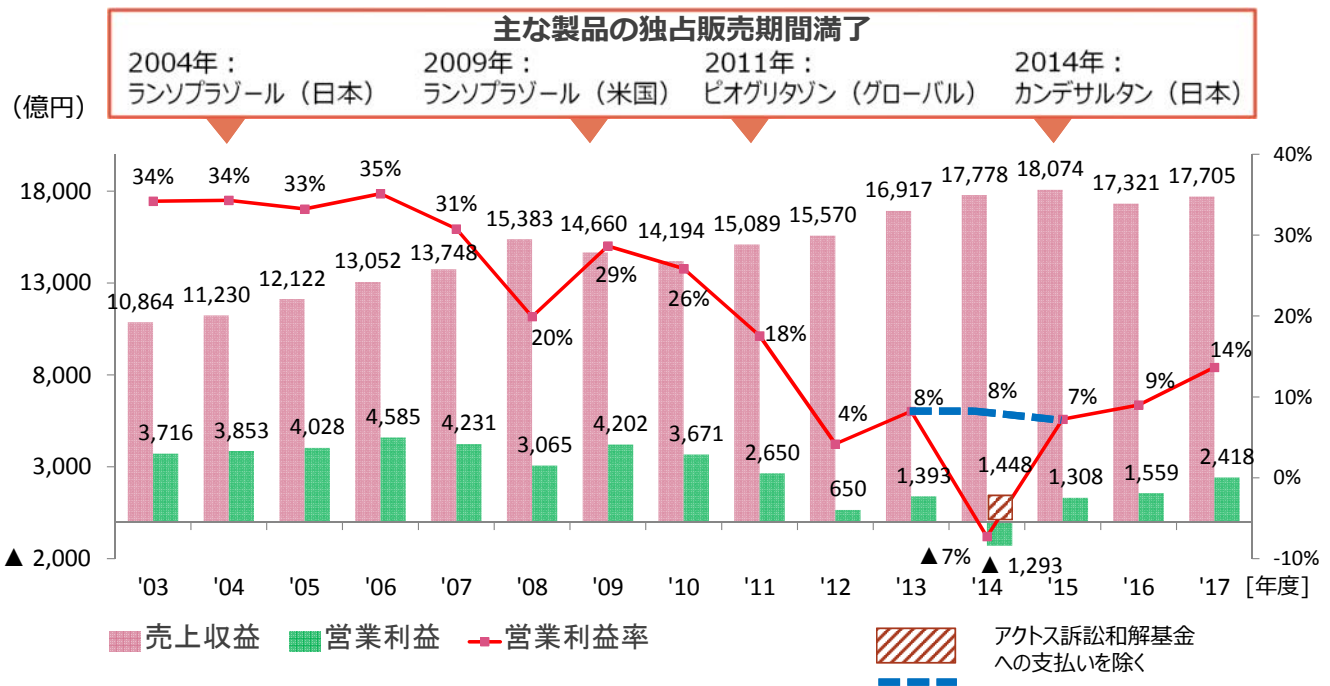
カリフォルニア州 サンディエゴ（米国）

専門性の高い新薬探索技術
消化器系疾患
ニューロサイエンス

23

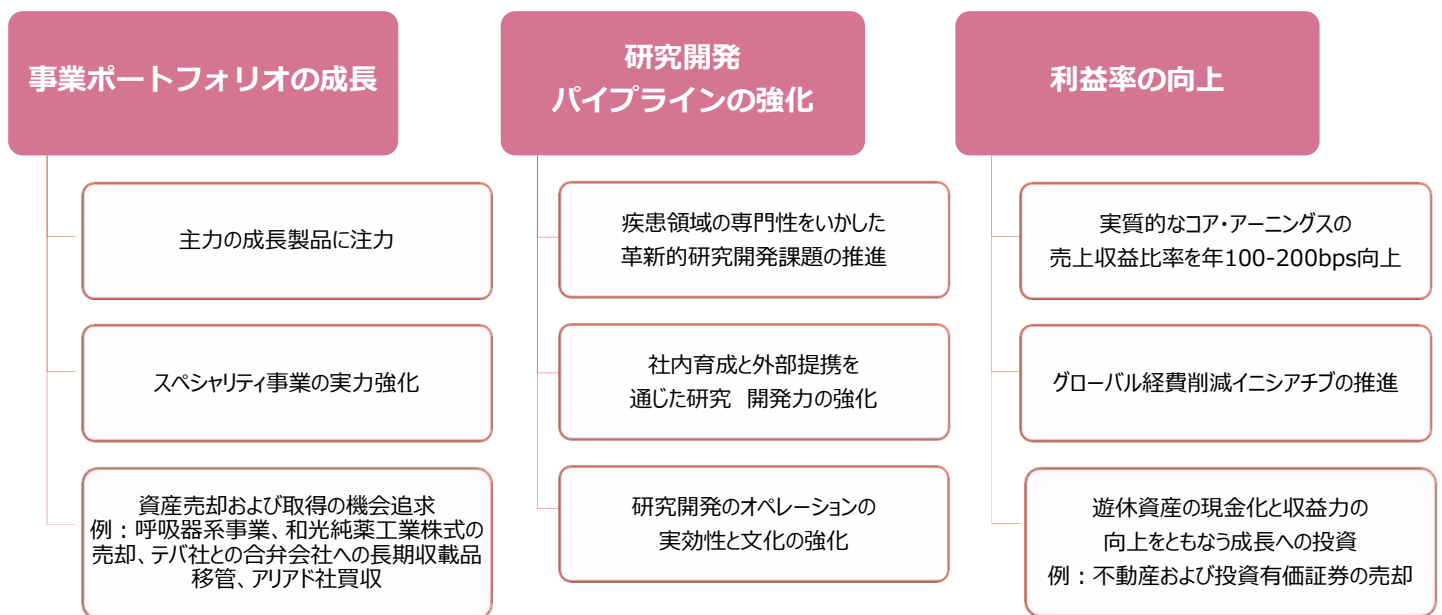
当社の利益率の推移

グローバルに競争力を有するためには利益率の改善が急務





当社の取り組み

中期的な優先事項にフォーカスし、事業基盤を強化






事業ポートフォリオの成長（消化器系疾患） エンティビオ*は2019年度中に売上高30億米ドル(MAT)を見込む

ブランド名	適応症	2017年度売上高	市場機会	競合状況
	潰瘍性大腸炎 クローン病	グローバル 2,014億円	<ul style="list-style-type: none"> 全世界の炎症性腸疾患の患者数は500万人を超える (European Crohn's and Colitis Organisation) ヒト化抗α4β7インテグリンモノクローナル抗体 腸管選択的に免疫反応を調節する新しい作用機序 生物学的製剤治療における新規患者の獲得 2019年度中に、移動通年合計 (MAT) での売上高30億米ドルの見通しに対し、予定通り進捗 	既存製品： Humira (AbbVie) Remicade (Janssen) Stelara (J&J) Remicade biosimilar (Pfizer/Hospira, Celltrion) 開発段階： ozanimod (Celgene) filgotinib (Gilead) etrolizumab (Genentech)
* 日本における製品名は「エンティビオ」				
	酸関連疾患	日本 485億円	<ul style="list-style-type: none"> カリウムイオン競合型アシッドブロッカー 速やかに持続的な胃酸分泌抑制作用 処方量の伸長により2018年4月に実施された薬価改定によるマイナス影響 (16.1%) をオフセットし堅調に推移 中国やブラジルを始め新興国にて新薬承認申請を提出 	既存製品： Nexium (AstraZeneca/第一三共) プロトンポンプインヒビター ジェネリック


本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

事業ポートフォリオの成長（オンコロジー） アルンブリグがフロントライン治療の臨床試験で主要評価項目を達成

ブランド名	適応症	2017年度売上高	市場機会	競合状況
	再発・難治性の 多発性骨髄腫	グローバル 464億円	<ul style="list-style-type: none"> 新規に多発性骨髄腫を発症する患者数は全世界で年間11万4千 (2012年世界保健機構 GLOBOCAN, Population Fact Sheet) 経口、週1回投与 自家造血幹細胞移植後の維持療法試験で主要評価項目を達成 ピーク年間売上30億米ドルを見込む 	既存品： Velcade (Takeda) Revlimid (Celgene) Kyprolis (Amgen/Ono) Darzalex (Genmab/J&J) Empliciti (BMS/AbbVie)
	再発・難治性の ホジキンリンパ腫および全身性未分化大細胞リンパ腫	グローバル 385億円	<ul style="list-style-type: none"> 新規にホジキンリンパ腫と診断されている患者数は全世界で毎年約6万6千人 (米国対がん協会および世界保健機構 GLOBOCAN) 抗体薬物複合体 ホジキンリンパ腫フロントライン適応の承認(日本、欧州) 	既存品： Rituxan (Roche) Opdivo (BMS/Ono)
	未分化リンパ腫 キナーゼ遺伝子 転座陽性 (ALK陽性) 非小細胞肺癌	米国 28億円	<ul style="list-style-type: none"> 非小細胞肺癌は、世界中で毎年新規に肺がんとして診断される患者さん180万人のうちの約85%を占める (世界保健機構による) 転移性非小細胞肺癌患者のうち約3~5%の患者においてALK遺伝子に転座がみられる クリゾチニブ治療後のALK陽性非小細胞肺癌について、欧州委員会より承認取得、欧州で発売 フロントライン治療に関する臨床第3相試験で、アルンブリグ群がクリゾチニブ群と比較して、無増悪生存期間を有意に改善し、主要評価項目を達成 経口剤で、10億米ドルを超えるピーク年間売上の可能を有する 	既存品： Xalkori (Pfizer) Zykadia (Novartis) Alecensa (Roche/Chugai) 開発段階： Lorlatinib (Pfizer) Ensartinib (Xcovery) Entrectinib (Ignyta/Roche)

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

事業ポートフォリオの成長（ニューロサイエンス） トリンテリックスの米国添付文書に、認知機能障害および性機能障害の 改善効果が追記

ブランド名	適応症	2017年度 売上高	市場機会	競合状況
	大うつ病	米国 484億円	<ul style="list-style-type: none"> 全世界で約3億人が罹患¹ マルチモダル型抗うつ薬 急性大うつ病における認知機能の症状の一つである処理速度の低下に改善効果があることを示すデータが米国添付文書に追記 大うつ病患者において本剤が治療に伴う性機能障害の改善についてEscitalopramに優るというデータが、米国添付文書に追記 日本で得られた良好な臨床第3相試験結果に基づき、成人の大うつ病性障害治療薬として厚生労働省に申請 	既存品： 選択的セロトニン再取り込み阻害薬（SSRI） セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬（SNRI）

1. World Health Organization (WHO). Depression. <http://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/depression>. (2018年6月4日時点)

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

事業ポートフォリオの成長 成長ドライバーが売上収益を牽引

成長ドライバー +12.8%

2017年度 実質的な売上収益の成長

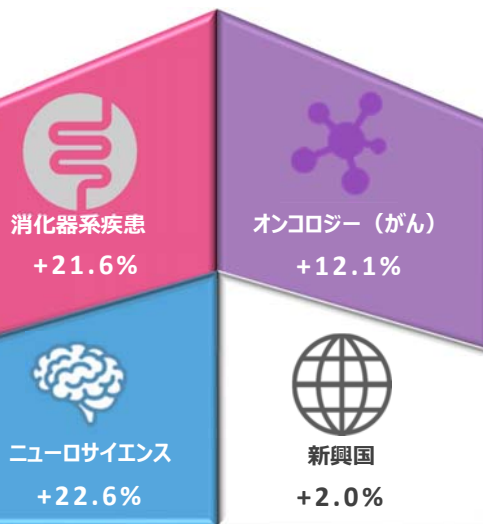
* 日本における製品名は「エンタイビオ」

主要製品：
エンタイビオ*、タケキャブ、デクスラント、
アミティーザ、ランソプラゾール

主要製品：
トリンテリックス、ロゼレム、アジレクト、
レミニール、コパキソン

主要製品：
ニラーロ、アドセトリス、アルンブリグ、
アイクルシグ、ベクティビックス、
リュープロレリン

主要国：
ロシア、ブラジル、中国



タケダ連結売上の成長ドライバー比率 62%

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

研究開発パイプラインの強化 革新性の高い早期開発パイプラインへの投資と既発売品の価値最大化

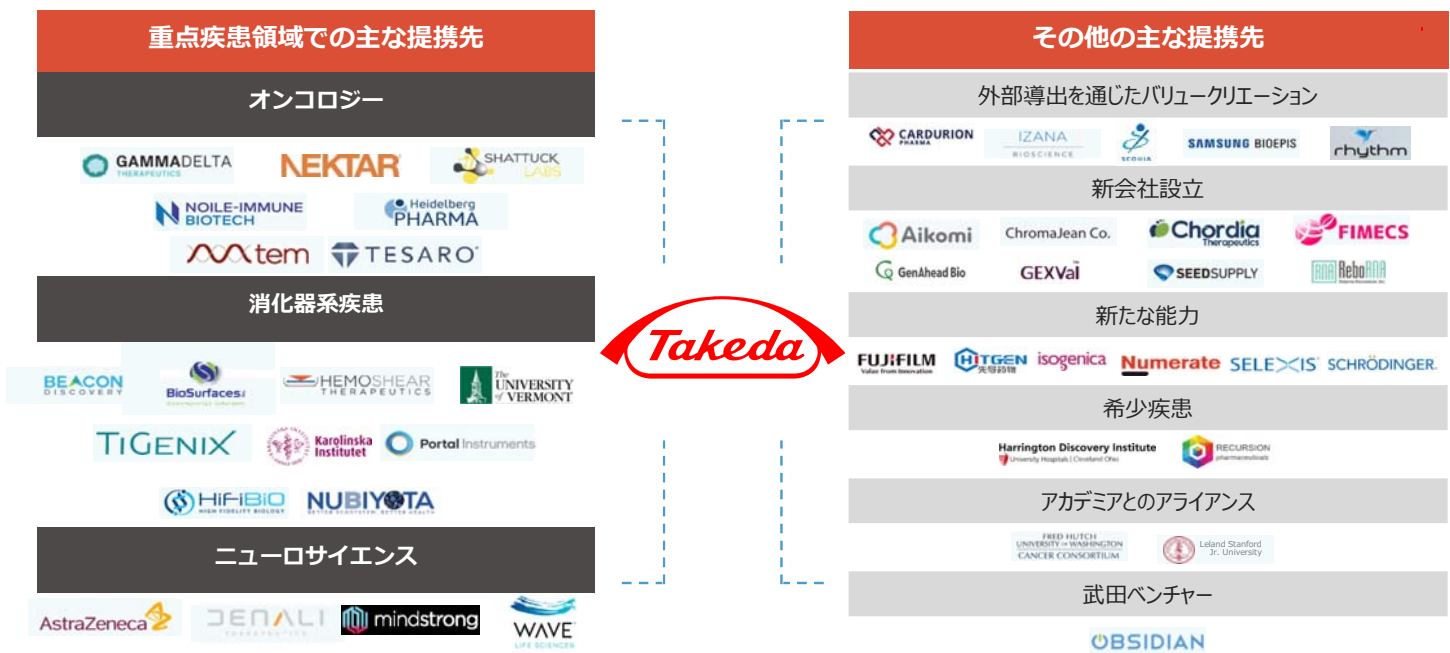
2018年10月31日現在のパイプライン

	臨床第1相			臨床第2相		臨床第3相/ 申請	承認*	
オンコロジー (がん)	TAK-981 SUMO inhibitor Multiple cancers	TAK-573 Teva Anti-CD38 attenukine R/R MM	XMT-1522 Mersana Therapeutics HER2 dolaflexin ADC HER2+ Solid Tumors	sapanisertib mTORC 1/2 inhibitor Endometrial Cancer		pevonedistat NAE inhibitor HR-MDS/CMMML/LB AML	NINLARO® Proteasome inhibitor Amlytarin, BIC, MMA, SML, MMA extra combis, R/R MM, Neuro, Glee, Mamm. MM, neuro, Glee, BIC, MMA, neuro, SCL	ADCETRIS® Seattle Genetics CD30 ADC FL HL, FL, PCL, R/R HL, SCLCL
	TAK-164 ImmunoGen GDC1IGN ADC GI cancer	TAK-079 Anti-CD38 mAb R/R MM, SLE	TAK-788 EGFR/HER2 inhibitor NSCLC	TAK-659 SYK/FLT-3 inhibitor DLBCL, Solid Tumors		relugolix Riyovant GnRH antagonist Prostate Cancer (JP) (Phase 1 in CN)	ALUNBRIG ALK inhibitor 2L ALK+ NSCLC, 1L ALK+ NSCLC	ICLUSIG® BCR-ABL inhibitor 2L Chronic Phase CML, Ph+ ALL
消化器系疾患	TAK-671 Samsung Bioepis Protease inhibitor Acute Pancreatitis	Kuma062 PvP Biologics Glutenase Celiac Disease	TIMP-Gliadin Cour Imm. Tol. Induction Celiac Disease	TAK-906 D2/D3R Antagonist Gastroparesis			ENTYVIO® oAβ7 mAb UC/CD, adalimumab H2H, Sub-Q UC, Sub-Q CD, GvHD Prophylaxis	Vonoprazan PCAB GERD PPI partial resp, ARD, NERD
	TAK-018 Enterome FimH antagonist Crohn's Disease			TAK-954 Theravance Biopharma 5-HT4R agonist EFI				ALOFISEL® mesenchymal stem cells Perianal Fistulas in CD
ニューロ サイエンス (神経精神疾患)	TAK-653 AMPA potentiator TRD	TAK-418 LSD1 inhibitor Kabuki Syndrome	TAK-041 GPR139 agonist CIAS NS	TAK-935 Ovid Therapeutics CH24H inhibitor Rare Pediatric Epilepsies				TRINTELLIX™ Lundbeck Multimodal anti-depressant MDD (JP)
	MEDI-1341 AstraZeneca Alpha-syn mAb Parkinson's Disease	TAK-925 Orexin 2R agonist Narcolepsy		TAK-831 DAAO inhibitor Ataxia, CIAS NS				
	WVE-120101 Wave mHTT SNP1 ASO Huntington's Disease	WVE-120102 Wave mHTT SNP2 ASO Huntington's Disease						
ワクチン	TAK-021 EV71 Vaccine	TAK-426 BARDA Zika Vaccine		TAK-195 Gates Foundation Inactivated Polio Vaccine		TAK-003 Dengue Vaccine		
				TAK-214 Norovirus Vaccine				

○ オーフアンドラッグ (希少疾病医薬品) 指定 (いずれかの開発地域もしくは効能で指定を受けたもの)
 ▶ ステージアップ/追加 2018年7月31日以降 5
 ▷ ステージアップ/追加 2018年4月1日以降 2
 ▲ ステージアップ/追加 2017年度 14
 ▲ 申請が可能
 臨床第1相~3相に開示されているアセットは、明確に新規候補物質とされているもの
 *新たなまたは追加の適応追加のために、あるいは新たな地域で承認取得を目指しているもの

30 ENTYVIO: 日本における製品名は「エンタイビオ」 地域の略語: GL = global (USA, Europe, Japan, China) 略語については略語用語集をご参照ください。  武田薬品工業株式会社

研究開発パイプラインの強化 新たなパートナーシップの締結 (2017年度 56件)



56件の取引のすべてを含むわけではない: 開示されたパートナーシップ/コラボレーションのみを表示 すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属

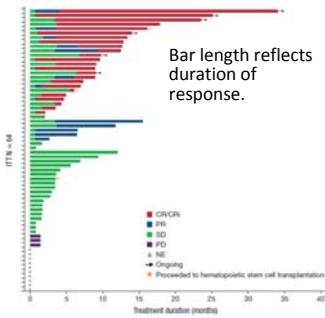
研究開発パイプラインの強化 有望なピボタル試験プログラム

間もなく得られるピボタル試験結果

次に開始されるピボタル試験

Pevedonestat NEDD8 活性化酵素阻害薬

Phase 1b study of pevonedistat with azacitidine¹



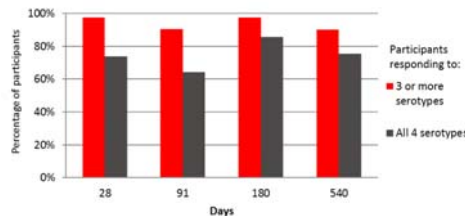
¹ Blood. 2018;131(13):1415-1424

申請可能なデータが
2019年度中に得られる予定

ピボタル試験：有効性を示す主な根拠となる重要な試験

TAK-003 デング熱ワクチン

Antibody-mediated immune response in dengue naïve population²



² Lancet Infect Dis 2018; 18: 162–70 Published Online November 6, 2017 [http://dx.doi.org/10.1016/S1473-3099\(17\)30632-1](http://dx.doi.org/10.1016/S1473-3099(17)30632-1)

臨床第3試験において
主要評価項目を達成

TAK-788 EGFR/HER2 阻害薬

Antitumor Activity in All Patients Treated with TAK-788 at a Total Daily Dose of ≥80–160 mg



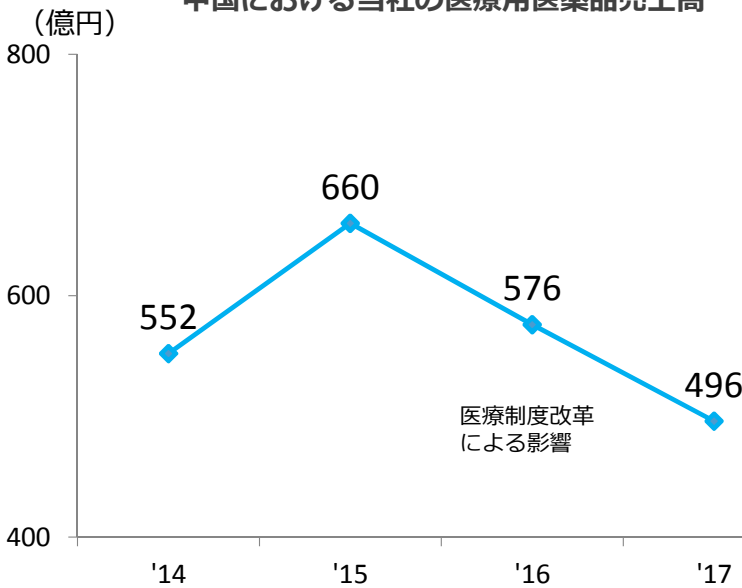
CR, complete response; PD, progressive disease; PR, partial response; SD, stable disease
¹ Cohorts 40 mg bid, 80 mg bid, 160 mg bid, 120 mg bid, and 160 mg bid every 2 weeks
² The NEDD8 I-1
³ Response pending confirmation

Neal et al., WCLC 2018

申請可能なデータ取得に向けた臨床
試験を2018年度中に開始予定

研究開発パイプラインの強化 中国市場へも主力の成長製品を順次投入し、更なる成長へ

中国における当社の医療用医薬品売上高



2018年9月23日時点のタイムライン見込みであり、変更となる可能性がある

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。

ENTYVIO: 日本における製品名は「エンタイビオ」

VOCiNTi
vedolizumab
(びらん性食道炎治療)

ADCETRIS
brentuximab vedotin
(再発・難治性のホジキンリンパ腫、全身性未分化大細胞リンパ腫)

NINLARO
ixazomib capsules
(再発・難治性の多発性骨髄腫)
2018年7月発売

Nesina Met
alogliptin and metformin HCl
(2型糖尿病)

edarbi
lisinartan medoxomil
(高血圧症)

Entyvio
vedolizumab
(潰瘍性大腸炎、クローン病)

NINLARO
ixazomib capsules
(初発の多発性骨髄腫、幹細胞移植未実施または移植後の維持療法、ALアミロイドーシス)

VOCiNTi
vedolizumab
(びらん性食道炎再発予防、胃潰瘍、十二指腸潰瘍)

2020年までに6製品、14の適応症を予定

利益率の向上：グローバル経費削減イニシアチブ（2016年度開始） 推進により、実質的なコア・アーニングスの対売上収益比率を年1~2%向上

外部環境の課題

- ・ 競争の激化
- ・ 競合他社はコスト削減を積極的に実施
- ・ 医薬品に対する価格引下げ圧力の増大

利益率の課題

- ・ グローバルの競合他社は10%以上高い
- ・ 競合他社は、研究開発で将来成長への投資を柔軟に実施

実質的な
コア・アーニングス比率を
年1~2%向上

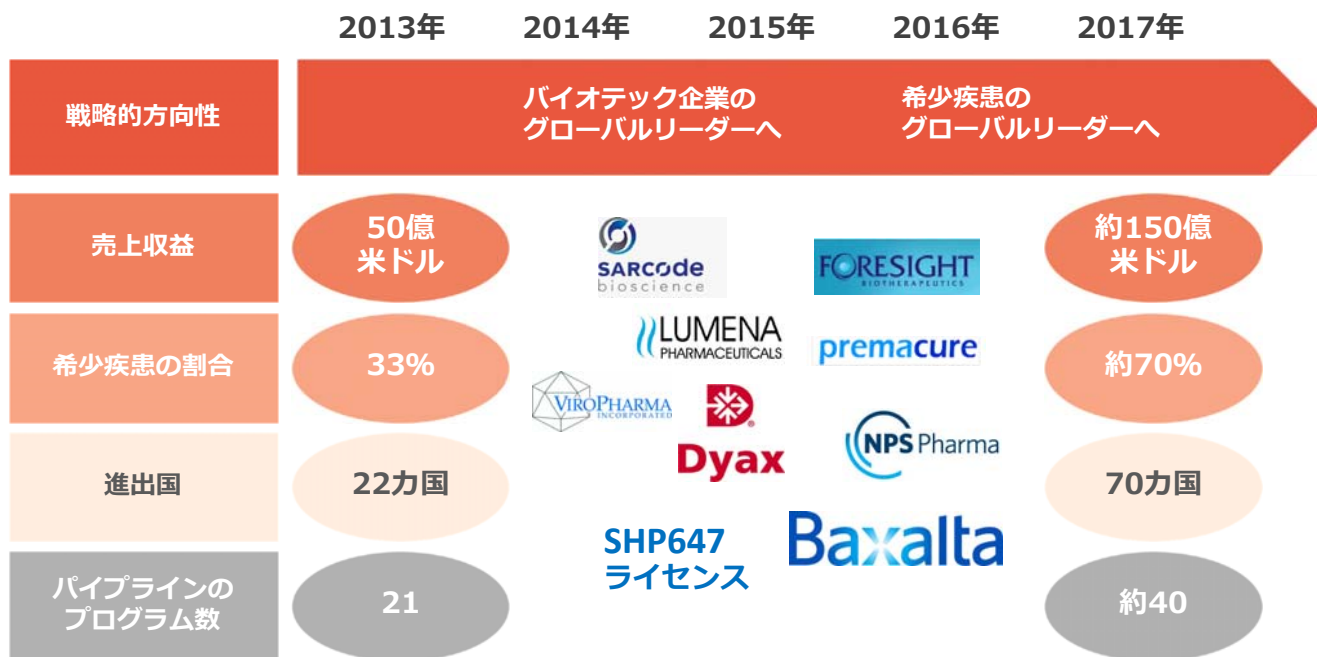
利益率改善により

柔軟に研究開発に投資
グローバルでの競争力を維持

シャイアー社買収

経営の基本精神に基づくグローバルな研究開発型
バイオ医薬品企業のリーディングカンパニーを目指して

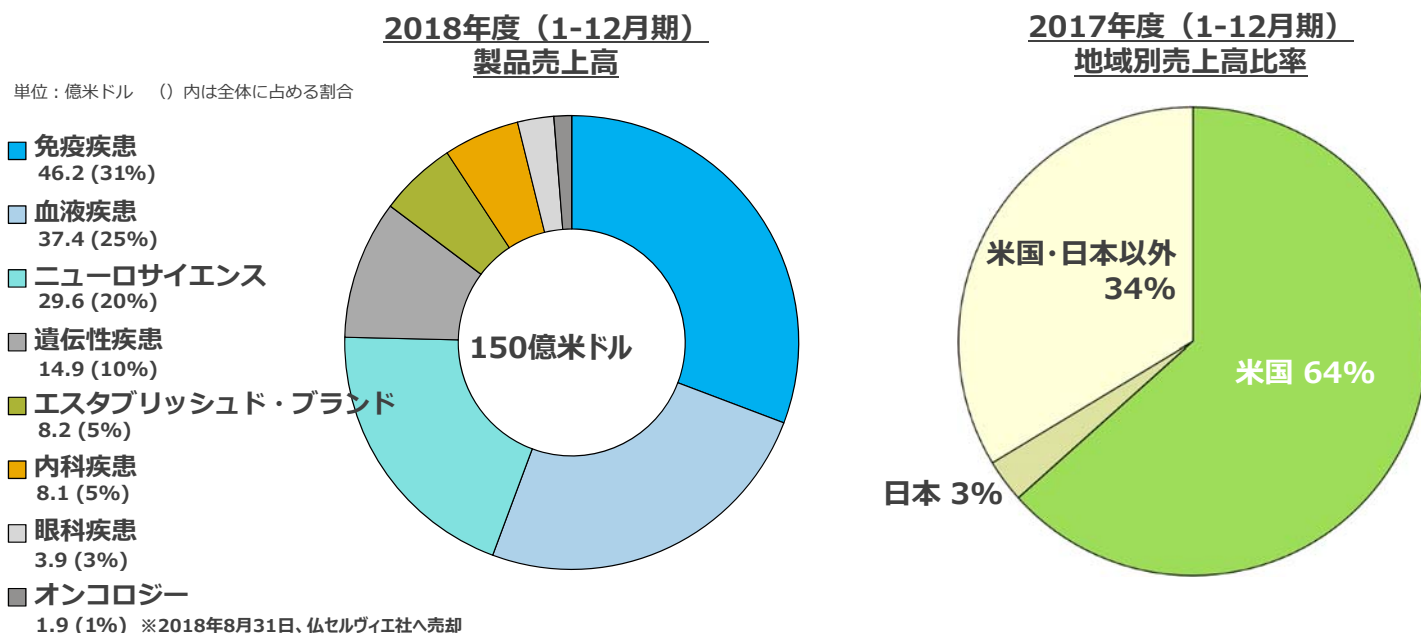
シャイアー社とは？ これまでの歩み



36

 武田薬品工業株式会社

シャイアー社とは？ 4つの各事業領域の年間売上高が10億ドル超え、売上高の64%が米国

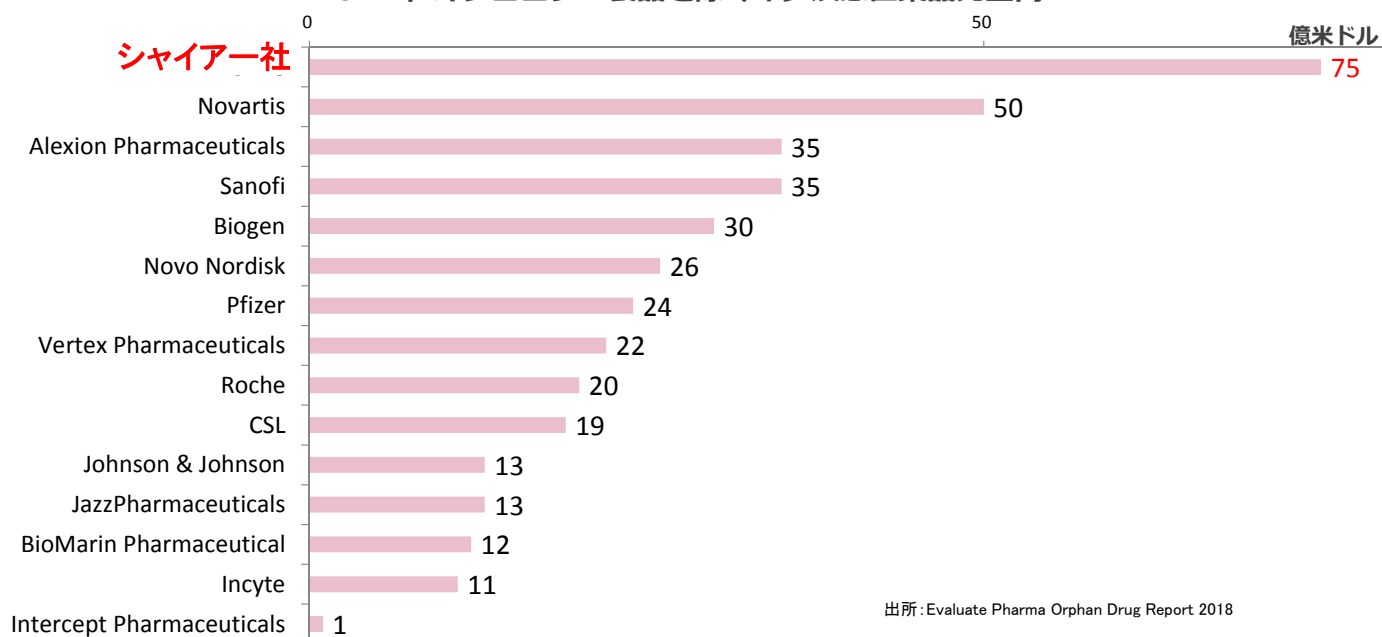


37 出所： 2018年については、当社2月15日付けプレスリリース。2017年については、シャイアー社アニュアルレポート

 武田薬品工業株式会社

シャイアー社とは？ 希少疾患領域のグローバルリーダー

2017年 オンコロジー製品を除く希少疾患医薬品売上高



シャイアー社とは？ 40%超のEBITDA（キャッシュ利益）マージン率

	(単位：百万米ドル)	2018年度 (1-12月期)	対前年同期
	売上収益 (米国基準)	15,490	+2.2%
	研究開発費 (米国基準)	1,695	△3.9%
	営業利益 (米国基準)	3,245	+32.2%
	当期利益 (米国基準)	2,327	△45.5%
	EBITDA (非米国基準のキャッシュ利益)	6,492	+0.0%
	対売上収益比率	42%	△1.0pp

出所：当社2月15日付けプレスリリース

シャイアー社買収の概要

株式/企業価値とマルチプル

- 株式価値 : 570億米ドル¹
- 企業価値 : 730億米ドル^{1, 2}

4.6x	11.1x	15.1x
シャイアー社 売上収益 (直近12ヶ月) ³	シャイアー社 Non GAAP EBITDA (直近12ヶ月) ³	シャイアー社 当期利益 (直近12ヶ月) ³

財務的なベネフィット

- 少なくとも年間14億米ドルのコストシナジー
- 実質ベースの1株当たり利益⁶が大幅に増加
- 魅力的な投下資本利益率(ROIC)
- 潤沢なキャッシュフローにより配当を維持



買収対価
6.2兆円

試算財務数値

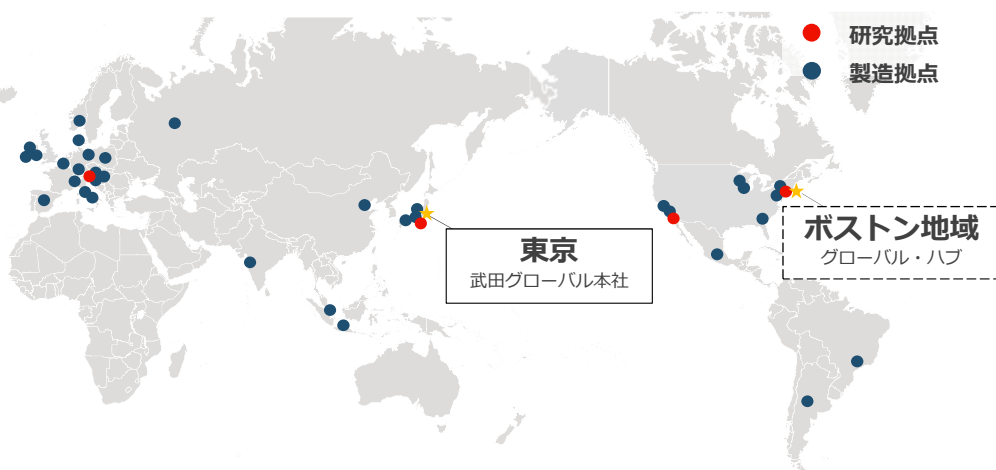
売上収益	313億米ドル⁴
調整後EBITDA	101億米ドル^{4, 5}

強固なバランスシートの維持

- 投資適格信用格付の維持
- 魅力的な負債利率
- 3~5年以内に純有利子負債/調整後 EBITDA倍率を2倍以下に低下させる計画

¹ 2019年1月7日(グリニッジ標準時 午後4:30)における武田薬品株式の終値3,995円及び1ポンド=138.40円並びに1ポンド=1.276米ドルの為替レートを使用して算出
² 2018年9月30日時点の純有利子負債151.54億米ドルを使用して算出
³ 2018年9月30日までの過去12ヶ月(LTM: Last Twelve Months)の実績であり、オンコロジー事業を含む
⁴ 2018年9月30日までの過去12ヶ月(LTM)の実績を2018年9月30日の為替レート1米ドル=113.6円を使用して算出
⁵ 武田薬品の調整後EBITDAとシャイアー社のNon-GAAP EBITDAの合計。詳細はスライド57-60をご参照
⁶ 実質ベースの1株当たり利益(EPS)は、実質的なCore当期利益の1株当たりの金額。詳細はスライド58をご参照

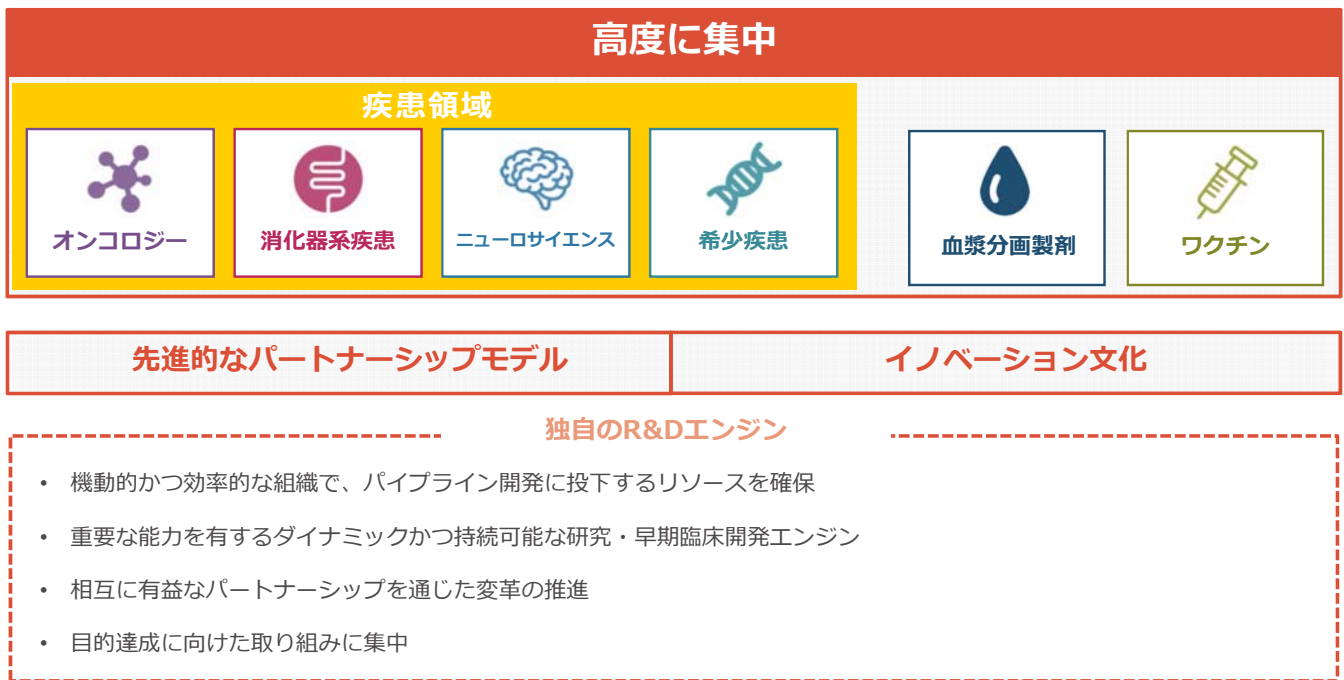
統合後の売上収益 魅力的な地域展開と長期的な成長を促進する規模



地域別内訳(約) ³	日本	米国	欧州およびカナダ	新興国
売上収益	18%	49%	19%	14%
従業員	12%	33%	16%	39%

¹ 2018年9月30日までの過去12ヶ月(LTM)の実績を2018年9月30日の為替レート1米ドル=113.6円を使用して算出
² 武田薬品の調整後EBITDAとシャイアー社のNon-GAAP EBITDAの合計。詳細はスライド57-60をご参照
³ a) 武田薬品の地域別売上収益は2018年9月31日までの過去12ヶ月の実績、b) シャイアー社の地域別売上収益は2017年12月31日までの過去12ヶ月のおおよその実績をその時点の為替レート1米ドル=112.65円を使用して算出、統合後のパーセンテージは武田薬品とシャイアー社の地域別売上収益を合算して算出

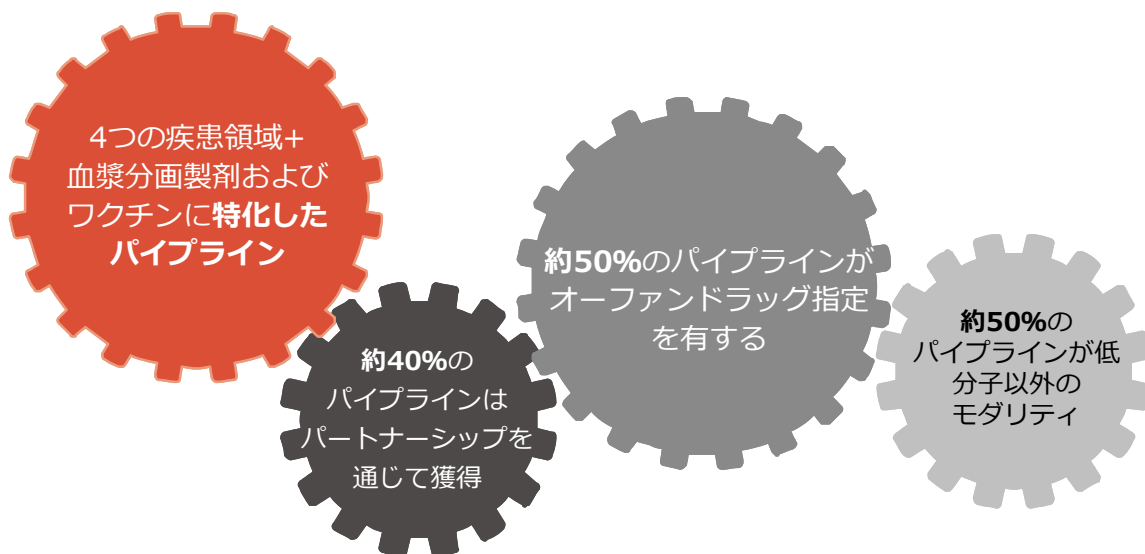
統合後の研究開発モデル 独自のR&Dエンジンによりイノベーションを促進



42

 武田薬品工業株式会社

統合後のパイプライン タケダとシャイアー社の革新的パイプラインは意義ある価値を提供する ポテンシャルを有する



注 武田薬品は2019年1月4日時点の、シャイアー社は2018年9月30日時点のパイプラインの状況

43

統合後のパイプライン 重点疾患領域において革新性の高いパイプラインを開発

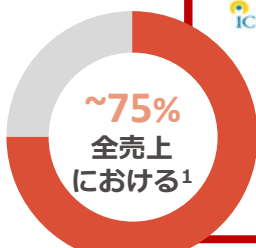
	臨床第1相	臨床第2相	臨床第3相/申請	承認*
オンコロジー	TAK-981 SUMO inhibitor Multiple cancers TAK-573 Teva Anti-CD38-antenukine R/R MM TAK-788 EGFR/HER2 inhibitor NSCLC	TAK-228 (sapanisertib) mTORC1/2 inhibitor Endometrial cancer TAK-659 SYN311 inhibitor Hematologic malignancies, DLBCL	TAK-385 (relugolix) Miyovant GnRH antagonist Prostate Cancer (PC) TAK-924 (pievonedistat) Mitsubishi HR-MOS/CMML/AML	NINLARO® Proteasome inhibitor ADCTRIIS® Seattle Genetics CD30 ADC ICLUSIG® BCR-ABL inhibitor
消化器系疾患	IMMUNOGEN GCC/IGN ADC GI cancer TAK-079 Anti-CD30 mAb R/R MM, SLE TAK-671 Samsung Bioepis Protease inhibitor Acute Pancreatitis Kuma062 Pvp Biologics Glutensase Celiac Disease TIMP-Gliadin Cour Imm Tol Induction Celiac Disease	TAK-906 D2/D3R antagonist Gastroparesis	TAK-721 (SHP621) UCSD/Fortis Oral anti-inflammatory EoE	ALUNBRIG® ALK inhibitor Cabozantinib Exelixis VEGFR/RTK inhibitor V Niraparib Tesaro PARP 1/2 inhibitor
ニューロサイエンス	TAK-018 EnteroMe FimH antagonist Crohn's Disease TAK-653 AMPAR potentiator TRD TAK-418 LSD1 inhibitor Kabuki Syndrome TAK-041 GPR139 agonist CIAS NS	TAK-935 Ovid Therapeutics CH24H inhibitor Rare Pediatric Epilepsies TAK-831 DAAO inhibitor Ataxia, CIAS NS		ENTYVIO® α4β7 mAb Vonoprazan PCAB ALOFISEL mesenchymal stem cells
希少疾患	TAK-611 (SHP611) ERT MLO TAK-531 (SHP631) Armodem D2 replacement Hemiplegia TAK-754 (SHP654) Asklepios Biopharm. Gene Therapy HemA	TAK-607 (SHP607) IGF-1/IGFBP3 Chronic Lung Disease TAK-609 (SHP609) D2S replacement Hunter, ONS (IT)	TAK-755 (SHP655) KM Biologics ERT/ADAMTS-13 CTP TAK-620 (SHP620) GlaxoSmithKline US29 kinase inh CMV infect. in transplant	TRINTELLIX® Lundbeck Multimodal anti- depressant BUCCOLAM GABA Allosteric Modulator MYDAYIS Mixed Amphetamine salts XR
血漿分画製剤				OBIZUR Ipsen FVIII replacement VONVENDI vWF replacement NATPARA PTH replacement
ワクチン	TAK-021 EV71 Vaccine TAK-426 BARDA Zika Vaccine	TAK-195 Gates Foundation Inactivated Polio Vaccine TAK-214 Norovirus Vaccine	TAK-003 Dengue Vaccine	ADYNOVATE FVIII replacement TAKHZYRO Anti-kallikrein mAb
眼科領域	TAK-639 (SHP639) Glaucoma	TAK-759 (SHP659) Parion DED	TAK-640 (SHP640) Anti-infl/anti-septic infectious conjunctivitis	HYQVIA Halozyme IgG + rh-hyaluronidase CINRYZE C1-inh

○ オフアンドラッグ (希少疾病医薬品) 指定
 (いずれかの開発地域もしくは効能で指定を受けたもの)
 ▶ ステージアップ/追加 2018年度Q2以降
 ▶ ステージアップ/追加 2018年4月1日以降
 ▶ パートナーシップによる開発課題
 * 申請可能な臨床試験
 Phase 1~3に開示されているアセットは、
 明確に新規候補物質とされているもの

44 2019年2月1日現在のパイプライン。略語については略語用語集をご参照ください。



主要ビジネスエリア 売上収益の約75%を占める5つの主要ビジネスエリアにフォーカス



億米ドル:2017年度売上概算 (%) :全売上に占めるおおよそのパーセンテージ

*約32億米ドル (11%) は遺伝性血管浮腫および希少血液疾患に含まれる血漿分画製剤のCinryze、Feiba、Immunate、Hemofil M、Immunine、Immusevenを除く。これら製品を含めると約47億米ドル (16%)
 出典:Shire plc Annual Report 2017、武田薬品2018年3月期連結財務諸表

注 a) 武田薬品は2018年3月31日までの過去12ヶ月の実績を為替レート1米ドル=110円を使用し算出、b) シャイア社は2018年3月31日までの過去12ヶ月の実績を使用し、合算後のパーセンテージを算出



主要ビジネスエリアにおける取り組み

オンコロジー



グローバルトップ10のオンコロジープレーヤーを目指す

- 血液がんにおけるリーダーシップポジションを築く
- 肺がんでのプレゼンスを構築する
- 革新的な細胞療法、新規のがん免疫ターゲットの追求

消化器系疾患



炎症性腸疾患とその他の消化器系疾患のグローバルリーダー

- 炎症性腸疾患フランチャイズの潜在価値を最大化
- スペシャルティ消化器、疾患領域におけるポジショニングを高める
- 消化管運動障害、セリアック病、肝疾患、マイクロバイームはパートナーを通じてパイプラインを構築

ニューロサイエンス



患者さんのニーズに応えるトップ企業に

- 大うつ病や注意欠陥多動性障害など精神疾患領域においてプレゼンスを高める
- 神経疾患および希少疾患に対するパイプラインを構築する

希少疾患



希少疾患領域におけるグローバルリーダー

- ライソゾーム病、遺伝性血管浮腫、原発性免疫不全症候群／続発性免疫不全症候群や血液疾患に対する複数の主力製品からなる強力なポートフォリオに注力する

血漿分画製剤



リーディングポジション

- タケダは大きな市場における有数のグローバルプレーヤー3社のうちの1社
- グローバルでの事業展開を可能とする幅広い差別化可能なポートフォリオを有する
- 新設されたグローバルなエンド・ツー・エンドのビジネスユニット

財務面での効果

研究開発投資、レバレッジ低下、キャッシュによる株主還元を支える収益力とキャッシュフロー

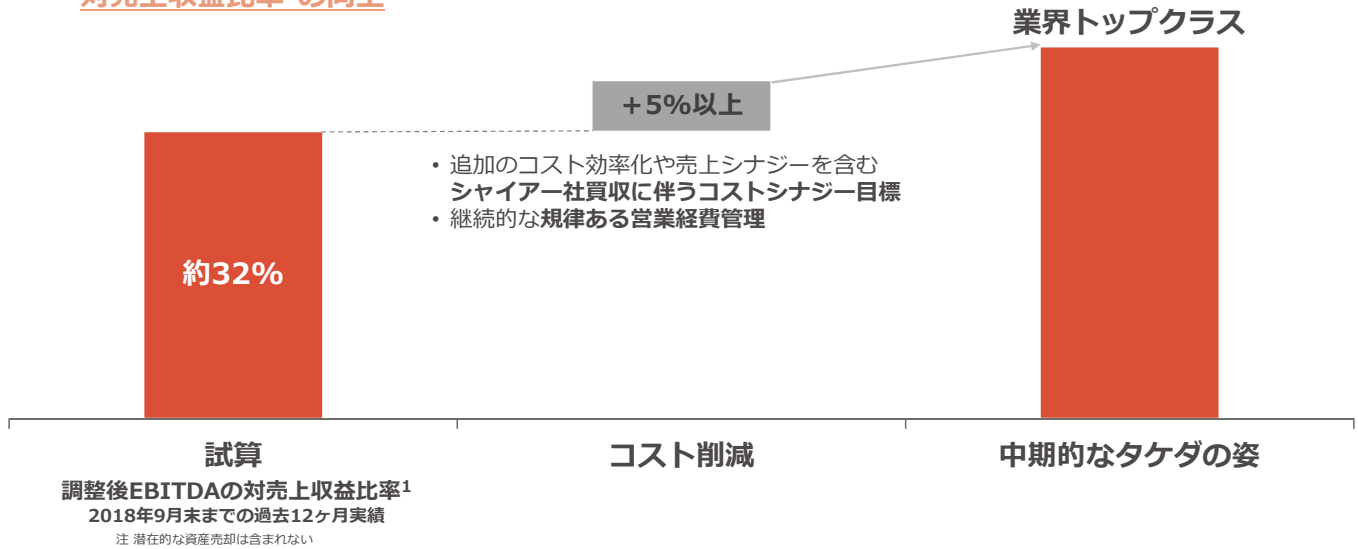
- 実質ベースの1株当たり利益（EPS）¹は最初の通期事業年度に大きく増加、財務ベースでは2021年度から増加
- 2021年度末までに少なくとも年間14億米ドルの税引き前コストシナジーを想定
- 投下資本利益率（ROIC）は最初の通期事業年度に加重平均資本コスト（WACC）を上回る見通し
- 投資適格信用格付の維持をコミット
- 1株当たり180円の確立された配当方針の維持を企図

¹ 実質ベースの1株当たり利益（EPS）は、実質的なCore当期利益の1株当たりの金額、詳細はスライド58をご参照

利益率の改善

中期的に業界トップクラスの利益率を実現するための明確な道のり

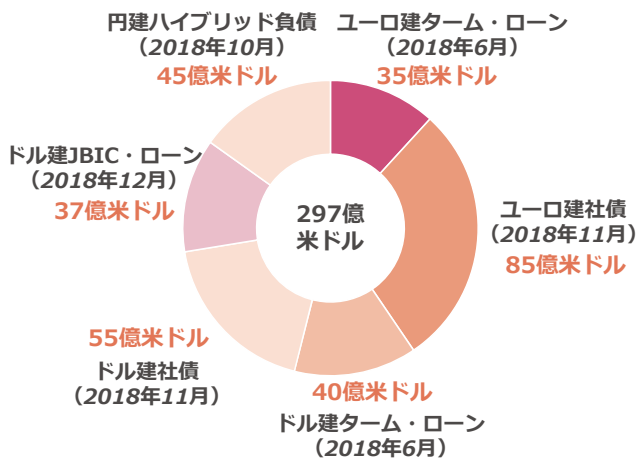
調整後EBITDA（キャッシュ利益）の 対売上収益比率¹の向上



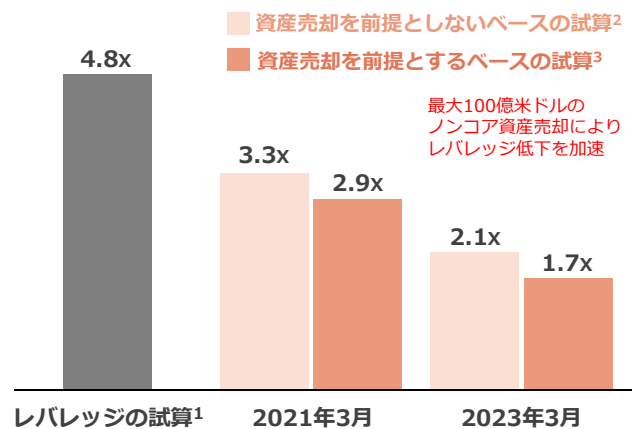
¹ (1) 武田薬品の2018年9月30日までの過去12ヶ月の調整後EBITDA4,050億円とシャイアー社の2018年9月30日までの過去12ヶ月のNon-GAAP EBITDA6,552百万米ドルの合計と
(2) 武田薬品の2018年9月30日までの過去12ヶ月の売上収益1兆7,700億円とシャイアー社の2018年9月30日までの過去12ヶ月の売上収益15,702百万米ドルの合計を、2018年9月30日の為替レート1米ドル=113.6円を使用して算出し
求められる比率、詳細はスライド57-60をご参照

レバレッジ(純有利子負債/調整後EBITDA倍率)低下に向けた取り組み 資産売却も実施しながら、中期的にレバレッジを2倍以下に速やかに低下させ、 投資適格信用格付の維持にコミット

資金調達の内訳



純有利子負債⁵/調整後EBITDA⁶倍率の試算



タケダの全有利子負債の加重平均利率は約2.3%⁴

¹ レバレッジの試算である純有利子負債/調整後EBITDA倍率の4.8倍は、約480億米ドルの純有利子負債を前提に算出、調整後EBITDAは(1) 武田薬品の2018年9月30日までの過去12ヶ月の調整後EBITDA4,050億円を2018年9月30日の為替レート1米ドル=113.6円を使用して算出したものと(2) シャイアー社の2018年9月30日までの過去12ヶ月のNon-GAAP EBITDA6,552百万米ドルの合計、詳細はスライド57-60をご参照
² 現金残高、年間のキャッシュフローとEBITDAの予測に基づく純有利子負債を前提とした試算
³ 現金残高、年間のキャッシュフロー、100億米ドルの資産売却(税引後)、EBITDA(資産売却調整後)の予測に基づく純有利子負債を前提とした試算
(2018年11月19日時点)
⁴ ユーロ建、ドル建、円建の社債と借入金にかかる加重平均利率
⁵ 有利子負債(短期・長期の社債、借入金、ハイブリッド債を含む)から現金および現金同等物を控除した純額
⁶ 武田薬品の調整後EBITDAとシャイアー社のNon-GAAP EBITDAの合計、詳細はスライド57-60をご参照

当社の経営陣

経験豊富で多様性に富み、優れた実績のあるタケダ・エグゼクティブチーム

 クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO	 コスタ・サルウコス チーフ フィナンシャル オフィサー	 平手 晴彦 コーポレート コミュニケーションズ&パブリックアフェアーズ オフィサー	 中川 仁敬 グローバル シェアラル カウンセル	 パドマ・ティルヴェンガダム チーフ HR オフィサー	 古田 未来乃 コーポレート戦略・オフィサー & チーフ オブ スタッフ	 ムワナ・ルゴゴ チーフ エシックス&コンプライアンス オフィサー
 ラモナ・セケイラ US ビジネス ユニット プレジデント	 岩崎 真人 ジャパンファーマ ビジネスユニット プレジデント	 ジャイルズ プラットフォード EUCAN ビジネスユニット プレジデント	 リカルド・マレック グロー&エマーシング マーケッツ ビジネスユニット プレジデント	 クリストフ・ビアンキ グローバル オンコロジー ビジネスユニット プレジデント	 ラジーヴ・ヴェンカヤ グローバル ワクチン ビジネスユニット プレジデント	 ジュリー・キム プラスマ デライド セラピーズ ビジネスユニット プレジデント
 アンディー・ブランブ リサーチ&デベロップメント プレジデント	 トーマス・ウオスニフスキー グローバル マニュファクチャリング& サプライ オフィサー	 ジェラード・グレコ グローバル クオリティ オフィサー	 カミラ・ソンドビー チーフ ベイシエント パリュ&プロダクト ストラテジー オフィサー	 マルチェロ・アゴステイ グローバル ビジネスデベロップメント オフィサー	 ヘレン・ギザ チーフ グローバル インデグレーション&ダイベステイチャー マネジメント オフィサー	

 武田薬品工業株式会社

50

当社の取締役体制

ベスト・イン・クラスのガバナンスを有する体制

社内取締役

 NC クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO	 岩崎 真人 取締役 ジャパン ファーマ ビジネスユニット プレジデント	 アンドリュー・ブランブ 取締役 リサーチ&デベロップメント プレジデント
--	---	--

CC	報酬委員会
NC	指名委員会
	独立社外取締役

社外取締役

 NC 坂根 正弘 独立取締役 取締役会議長 指名委員会委員長	 ミシェル・オーシンガー 独立取締役	 CC 志賀 俊之 独立取締役 報酬委員会委員長	 NC 東 恵美子 独立取締役	 CC 藤森 義明 独立取締役
 イアン・クラーク 独立取締役	 オリビエ・ボユオン 独立取締役	 スティーブン・ギリス 独立取締役		

監査等委員会

 CC 山中 康彦 取締役 監査等委員	 NC 国谷 史朗 独立取締役 監査等委員長	 初川 浩司 独立取締役 監査等委員	 ジャン=リュック・プテル 独立取締役 監査等委員
--	---	---	---

51

 武田薬品工業株式会社

2019年：新たなビジネスモデルを完璧に実行

- 1 実質ベースの良好なビジネスモメンタムを維持
- 2 研究開発組織に与える影響を最小限に抑え、パイプラインを引き続き強化
- 3 統合－ワン・カンパニー、ワン・チーム
- 4 ノンコア資産売却によるレバレッジ低下の加速、ポートフォリオをシンプルに

2018年度の見通し

財務ベースは、2017年度の一時的収益(和光純薬とテバ社へのLLP追加売却)と2018年度のシャイアー社買収関連費用が影響

2018年度第3四半期 損益計算書(財務ベース)

(億円)

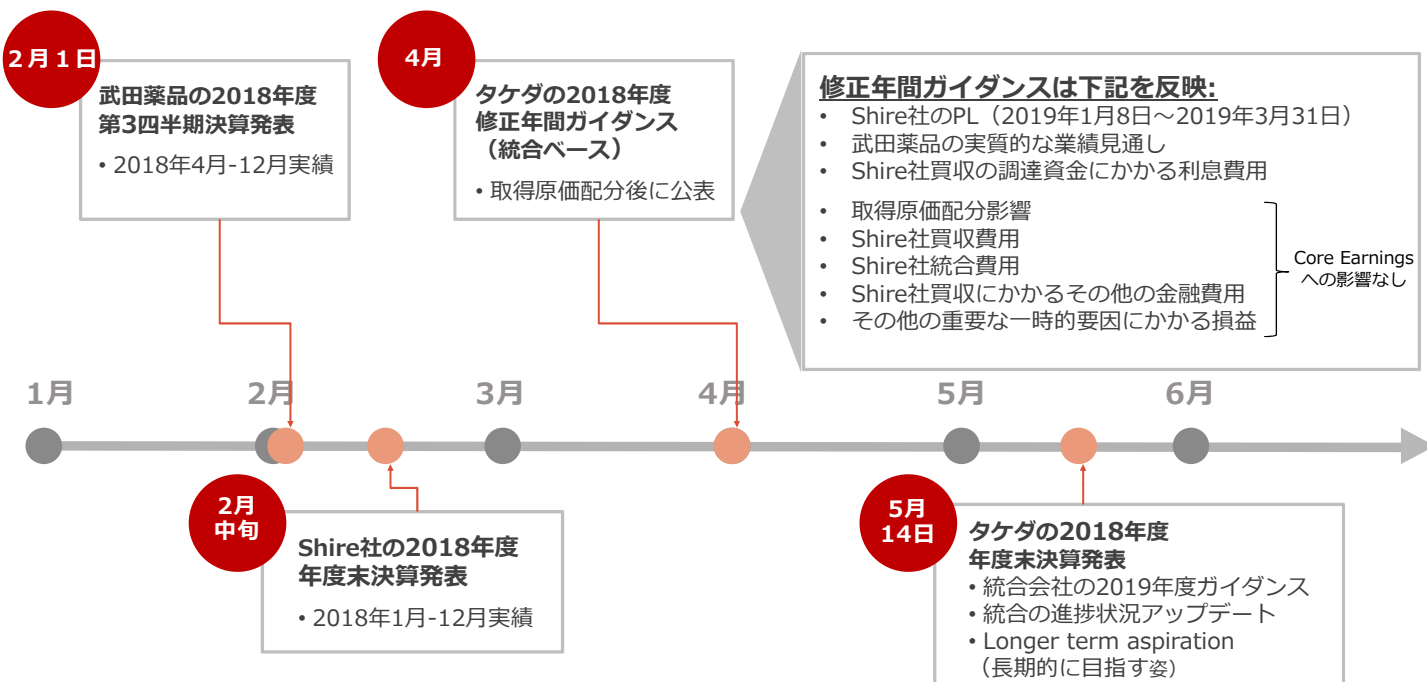
	2017年度 第3四半期	2018年度第3四半期 シャイアー社買収関連 費用込み	対前年同期	シャイアー社買収 関連費用	2018年度第3四半期 シャイアー社買収関連 費用除き	対前年同期
売上収益	13,696	13,800	+0.8%	—	13,800	+0.8%
コア・アーニングス	2,927	3,446	+17.7%	—	3,446	+17.7%
営業利益	3,223	2,844	△11.7%	△251	3,095	△4.0%
当期利益 (親会社の所有者 帰属分)	2,409	1,644	△31.7%	△383	2,027	△15.8%
基本的1株 当たり当期利益 (EPS) 円)	309円	210円	△32.0%	△49円	259円	△16.1%

LLP：長期収載品

54

 武田薬品工業株式会社

Shire社買収影響を含む2018年度年間ガイダンスは4月公表



55

 武田薬品工業株式会社



シャイアー社買収は

タケダが今後、

**「日本に本社を置く、経営の基本精神に基づくグローバルな
研究開発型バイオ医薬品企業のリーディングカンパニー」と
なるための変革を加速させます**

56

EBITDAと調整後EBITDAの定義

当社がEBITDA及び調整後EBITDAをお示しする理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられるものであり、有用と考えられることにあります。また、調整後EBITDAは、変化に富み予測が困難であるが故に経営とは無関係な諸要素により不透明となり、業績に実質的な影響を与え得る、また、継続的に期間毎の業績を評価することに困難にし得る事業全体の動向を、投資家の皆様が把握する際に有用と考えられます。

EBITDA及び調整後EBITDAは、IFRSに基づく指標である営業利益及び当期利益等の業績指標と切り離して考慮されてはならず、また、これらの代替とらえられてはならないものです。これらの指標は、他社において示されている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠けます。

EBITDA及び調整後EBITDAの有益性には、一例として、以下の限界があります。すなわち、(i)製薬業界における他社を含む、他社において用いられている類似の名称を付した財務指標との比較可能性に欠けるものです。また、(ii)業績評価において重視され得る一定の財務情報、例えば、企業買収や無形資産の償却による影響を除外してあります。さらに、(iii)一定期間において継続して生じ得る一定の事項を除外しており、また、(iv)投資家において当社の長期的な観点からの経営には無関係ととらえる事項、例えば、事業売却の影響等を必ずしも除外していません。これらのIFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠する当期利益（損失）と同視してはならず、また、これらに代わるものにとらえてはなりません。投資家の皆様におかれましては、当社の財務諸表全体を把握し、当社業績、事業価値及び収益予想を評価する基礎となる指標としてはIFRS準拠財務指標に依拠し、また、EBITDA及び調整後EBITDAは補足的な指標として用いられるようお願い申し上げます。

EBITDA及び調整後EBITDA

当社においては、EBITDAは、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、並びに純支払利息控除前の純利益を指します。また、調整後EBITDAは、減損損失、その他の営業収益・費用（減価償却費及び償却費を除く）、金融収益・費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益及び企業結合会計影響や取引関連費用などの当社の中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

57

武田薬品の調整後EBITDA及びシャイアー社のNon-GAAP EBITDAの 試算財務データにおける取り扱い

武田薬品の調整後EBITDA及びシャイアー社のNon-GAAP EBITDAは、その定義及び拠るべき会計基準が異なるため、直接的に比較検討可能なものではございません。武田薬品の調整後EBITDA及びシャイアー社のNon-GAAP EBITDAは、税金影響、持分法による投資損益、減損損失、一定の事業構造再編費用や取引関連費用、金融収益・費用、一定の現金・非現金項目等、各社の経営において非中核的な項目を調整したものです。

武田薬品の調整後EBITDAは、IFRSに準拠した指標の中では当期利益が最も類似し、シャイアー社のNon-GAAP EBITDAは、米国会計基準に準拠した指標の中では当期利益に最も類似します。武田薬品の調整後EBITDA及びシャイアー社のNon-GAAP EBITDAの更なる説明並びにIFRS及び米国会計基準において最も類似した指標との照合については、本プレゼンテーションのスライド27-28をご参照ください。

実質ベースのEPSの定義

実質ベースの1株当たり利益（EPS）は、実質的なCore当期利益の1株当たりの金額を指し、IFRSに基づく財務指標には該当いたしません。IFRSに準拠した指標の中では、当期利益が最も類似したものととなります。武田薬品においては、実質的なCore当期利益は、無形資産の償却費及び減損損失、その他の営業収益・費用（シャイアー社買収に関連する統合費用を含む）、シャイアー社買収に関連する一般管理費及び金融費用、その他の非定期的な損益、並びに為替変動及び事業売却等による影響を調整した後の当期利益を指します。シャイアー社買収完了後の最初の通期事業年度の実質ベースのEPSの照合はお示しておりません。これは、合理的な努力によっては、当期利益及び実質的なCore当期利益の調整に必要となる項目の額を予想することが困難であることによります。

武田薬品の当期利益からEBITDA/調整後EBITDAへの調整

(億円)	通期（3月期）			上期（9月期）	
	2016年	2017年	2018年	2017年	2018年
当期利益	835	1,155	1,867	1,727	1,265
法人所得税費用	371	278	305	603	1,265
減価償却費及び償却費	1,822	1,714	1,821	934	780
純支払利息	30	55	68	33	34
EBITDA	3,058	3,202	4,061	3,297	2,422
減損損失	152	514	135	(92)	7
その他の営業収益・費用（減価償却費及び償却費を除く）	170	(783)	(611)	(1,055)	(175)
金融収益・費用（純支払利息を除く）	73	54	(144)	(14)	118
持分法による投資損益	0	15	322	(5)	(40)
その他の調整項目					
連結除外に係る損失	63	-	-	-	-
アリアド社の買収に係る費用	-	32	-	-	-
アリアド社の買収で取得した棚卸資産の公正価値調整による利益への影響	-	-	14	8	-
シャイアー社買収に係る費用	-	-	-	-	79
調整後EBITDA	3,516	3,034	3,777	2,138	2,410

シャイアー社の当期利益（米国会計基準）からNon-GAAP EBITDAへの調整

本プレゼンテーションは、米国会計基準に準拠した指標ではない、シャイアー社のNon-GAAP EBITDAを含みます。Non-GAAPの指標は、シャイアー社の経営陣が、シャイアー社の中核事業に無関係であると判断する一定の現金・非現金項目の影響を除外した指標です。シャイアー社の報酬委員会は、当該指標を、シャイアー社のExecutive Directorsを含む経営陣及び従業員の業績及び報酬の評価に用いております。当該指標は、米国会計基準に準拠した指標の中では、当期利益が最も類似するものです。

(USDmm)	Full year ended Dec 31			9 months ended Sep 30	
	2015	2016	2017	2017	2018
U.S. GAAP Net income	1,303.4	327.4	4,271.5	1,166.1	1,703.3
(Deduct) / add back:					
Loss / (gain) from discontinued operations net of tax	34.1	276.1	(18.0)	(18.6)	—
Equity in losses / (earnings) of equity method investees, net of taxes	2.2	8.7	(2.5)	(0.1)	(11.2)
Income taxes	46.1	(126.1)	(2,357.6)	44.6	371.0
Other expense/(income), net	33.7	476.8	561.8	412.9	417.2
U.S. GAAP Operating income from continuing operations	1,419.5	962.9	2,455.2	1,604.9	2,480.3
Revenue from upfront license fee	—	—	(74.6)	—	—
Expense related to the unwind of inventory fair value adjustments	31.1	1,118.0	747.8	688.7	40.9
Inventory write down related to the closure of a facility	—	18.9	—	—	—
One-time employee related costs	—	20.0	(4.0)	—	—
Impairment of acquired intangible assets	643.7	8.9	20.0	20.0	10.0
Costs relating to license arrangements	—	110.0	131.2	123.7	10.0
Legal and litigation costs	9.5	16.3	10.6	8.6	—
Amortization of acquired intangible assets	498.7	1,173.4	1,768.4	1,280.5	1,375.3
Integration and acquisition costs	39.8	883.9	894.5	696.7	512.0
Reorganization costs	97.9	121.4	47.9	24.5	268.9
Gain on sale of product rights	(14.7)	(16.5)	(0.4)	0.4	267.2
Depreciation	138.5	292.9	495.8	363.5	432.8
Costs related to AbbVie's terminated offer	60.1	—	—	—	—
Non GAAP EBITDA	2,924.1	4,710.1	6,492.4	4,806.7	4,866.3

略語用語集

AD	Alzheimer's disease (アルツハイマー病)	DLBCL	diffuse large B cell lymphoma (びまん性大細胞型B細胞リンパ腫)	IND	investigational new drug (治験薬)	PFIC	progressive familial intrahepatic cholestasis (進行性家族性肝内胆汁淤積)
ADC	antibody drug conjugate (抗体薬物複合体)	DM	diabetes mellitus (糖尿病)	I/O	immuno-oncology (がん免疫治療)	Ph+ ALL	Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia (フィラデルフィア染色体陽性ヒト急性リンパ性白血病)
ADHD	attention deficit hyperactivity disorder (注意欠陥多動性障害)	DU	duodenal ulcer (十二指腸潰瘍)	IV	intravenous (静脈投与)	PID	primary immunodeficiency (原発性免疫不全)
ALK	anaplastic lymphoma kinase (未分化リンパ腫キナーゼ)	Dx	diagnosis (診断)	iPSC	induced pluripotent stem cells (人工多能性幹細胞)	PPI	proton pump inhibitor (プロトンポンプ阻害薬)
ALS	amyotrophic lateral sclerosis (筋萎縮性側索硬化症)	EE H	erosive esophagitis healing (びらん性食道炎の治療)	LBD	Lewy Body Dementia (レビー小体病)	PK	pharmacokinetics (薬物動態)
AML	acute myeloid leukemia (急性骨髄性白血病)	EE M	erosive esophagitis maintenance (びらん性食道炎の再発予防)	LB AML	Low-Blast Acute Myeloid Leukemia (低ブラスト急性骨髄性白血病)	POC	proof of concept (概念実証)
AMR	antibody mediated rejection (抗体関連型拒絶反応)	EFI	enteral feeding intolerance (経腸栄養不耐性)	LSD1	Lysine specific demethylase 1 (リジン特異的脱メチル化酵素)	POI	post-operative ileus (術後イレウス)
ASCT	autologous stem cell transplant (自家幹細胞移植)	EGFR	epidermal growth factor receptor (上皮増殖因子受容体)	LCM	lifecycle management (ライフ・サイクル・マネジメント)	PTCL	peripheral T-cell lymphoma (末梢性T細胞リンパ腫)
ARD	acid-related diseases (胃酸関連疾患)	EOE	eosinophilic esophagitis (好酸球性食道炎)	mAb	monoclonal antibodies (モノクローナル抗体)	R/R	relapsed/refractory (再発/難治)
BTk	Bruton's tyrosine kinase (ブルトン型チロシンキナーゼ)	ESCC	esophageal squamous-cell carcinoma (食道扁平上皮がん)	MAOB	monoamine oxidase B (モノアミン酸化酵素B)	RA	rheumatoid arthritis (リウマチ性関節炎)
BBB	blood brain barrier (血液脳関門)	FL	front line (フロントライン適応)	MLD	metachromatic leukodystrophy (異染色性白質ジストロフィー)	RCC	renal cell cancer (腎細胞がん)
BOS	budesonide oral solution (ブデソニド経口懸濁液)	FLT-3	FMS-like tyrosine kinase 3 (FMS様チロシンキナーゼ3)	NAE	NEDD8 activating enzyme (NEDD8活性化酵素)	RTK	receptor tyrosine kinase (受容体チロシンキナーゼ)
CAR-T	Chimeric antigen receptor-T (次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞)	FSI	first subject in (最初の患者登録)	NASH	non-alcoholic steatohepatitis (非アルコール性脂肪性肝炎)	sALCL	systemic anaplastic large cell lymphoma (全身性未分化大細胞リンパ腫)
CD	Crohn's disease (クローン病)	GCC	guanylyl cyclase C (グアニルシクラーゼC)	ND	newly diagnosed (新たに診断された)	SBS	short bowel syndrome (短腸症候群)
CHAWI	congenital hemophilia A with inhibitors (インヒビター保有先天性血友病A)	GERD	gastroesophageal reflux disease (胃食道逆流症)	NDA	new drug application (新薬承認申請)	SC	subcutaneous formulation (皮下投与製剤)
CIAS	cognitive impairment associated with schizophrenia (統合失調症に伴う認知障害)	GI	gastrointestinal (胃腸)	Neg	negative (陰性)	SCT	stem cell transplant (幹細胞移植)
CIC	chronic idiopathic constipation (慢性特発性便秘)	GnRH	gonadotropin-releasing hormone (ゴナドトロピン放出ホルモン)	NERD	non-erosive reflux disease (非びらん性胃食道逆流症)	SCZ	schizophrenia (統合失調症)
CIDP	chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy (慢性炎症性脱髄性多発神経炎)	GU	gastric ulcer (胃潰瘍)	NF	new formulation (新規剤型)	SLE	systemic lupus erythematosus (全身性エリテマトーデス)
CML	chronic myeloid leukemia (慢性骨髄性白血病)	GvHD	graft versus host disease (移植片対宿主病)	NK	natural killer (ナチュラルキラー)	sq	squamous (扁平上皮)
CMML	chronic myelomonocytic leukemia (慢性骨髄単球性白血病)	HAE	hereditary angioedema (遺伝性血管浮腫)	NME	new molecular entity (新規候補物質)	SR	steroid refractory (ステロイド抵抗性)
CSF	cerebral spine fluid (脳脊髄液)	H2H	head to head (直接比較)	NSCLC	non-small cell lung cancer (非小細胞肺癌)	SR-GvHD	steroid refractory acute graft vs host disease (ステロイド抵抗性急性移植片対宿主病)
CNS	central nervous system (中枢神経系)	HCC	hepatocellular carcinoma (肝細胞がん)	NSCT	non stem cell transplant (非幹細胞移植)	STING	stimulator of interferon genes (インターフェロン遺伝子誘発因子)
CRL	complete response letter (審査完了報告通知)	HemA	hemophilia A (血友病A)	NS	negative symptoms (陰性症状)	SUMO	small ubiquitin-related modifier (低分子ユビキチン修飾因子)
CTCL	cutaneous T Cell Lymphoma (皮膚T細胞リンパ腫)	HER2	human epidermal growth factor receptor 2 (ヒト上皮成長因子受容体2)	OIC	opioid induced constipation (オピオイド誘発性便秘)	SYK	spleen tyrosine kinase (脾臓チロシンキナーゼ)
CTTP	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura (先天性の血栓性血小板減少性紫斑病)	HL	Hodgkin's lymphoma (ホジキンリンパ腫)	ORR	overall response rate (全奏効率)	TESD	treatment emergent sexual dysfunction (治療に起因する性機能障害)
DAAO	D-amino acid oxidase (D-アミノ酸酸化酵素)	HR MD5	high risk myelodysplastic syndromes (高リスク骨髄異形成症候群)	PARP	poly (ADP-ribose) polymerase (ポリADPリボースポリメラーゼ)		
DED	dry eye disease (ドライアイ)	IBD	inflammatory bowel disease (炎症性腸疾患)	PBS	phosphate buffered saline (リン酸緩衝生理食塩水)		
		IBS-C	irritable bowel syndrome with constipation (過敏性腸症候群便秘型)	PCAB	potassium competitive acid blocker (カリウムイオン競合型アシッドブロックャー)		



武田薬品工業株式会社